

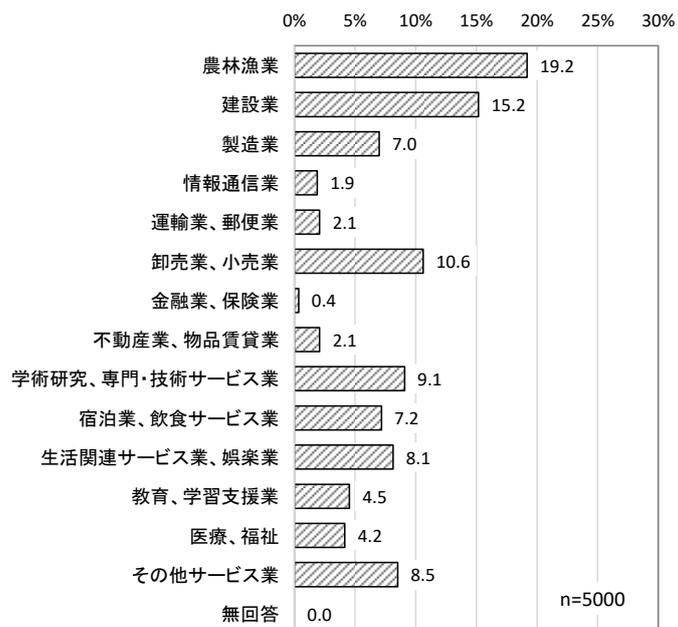
4. 自営業者調査

1) 事業の概要

(1) 主たる事業の業種(SC2)

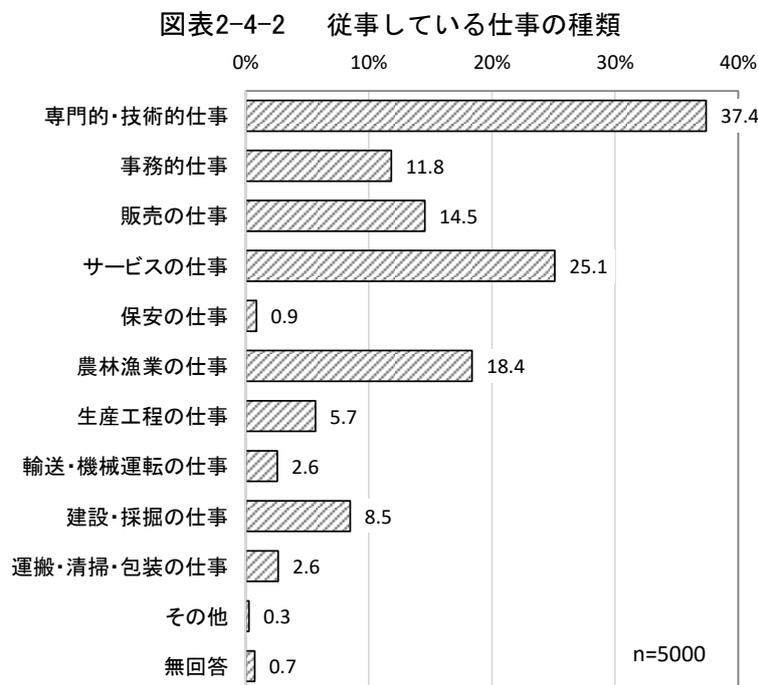
主たる事業は、「農林漁業」の割合が19.2%で最も高く、次いで「建設業」が15.2%であった。

図表2-4-1 主たる事業の業種



(2) 従事している仕事の種類(Q3)

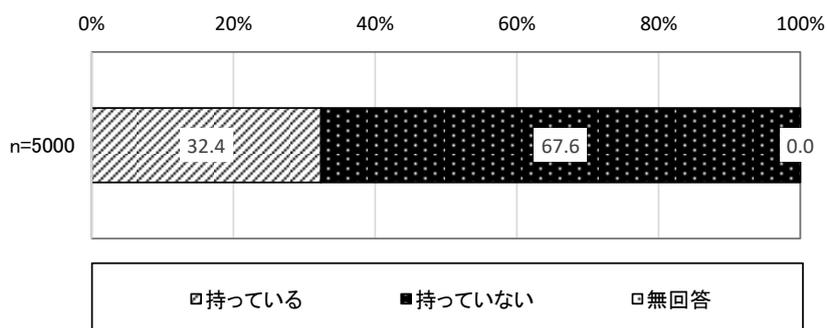
従事している仕事の種類は、「専門的・技術的工作」の割合が37.4%で最も高く、次いで「サービスの仕事」が25.1%であった。



(3) 消費者向け店舗の有無(Q2)

消費者向け店舗の有無は、「持っている」の割合が32.4%、「持っていない」が67.6%であった。

図表2-4-3 消費者向け店舗の有無

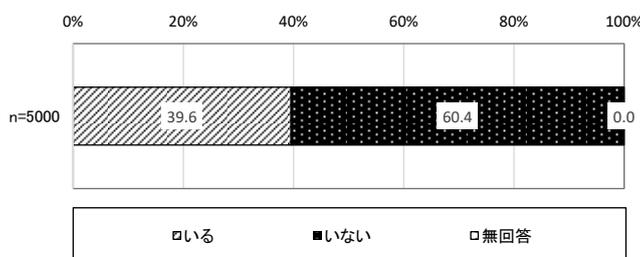


(4) 家族従業者・役員・従業員数

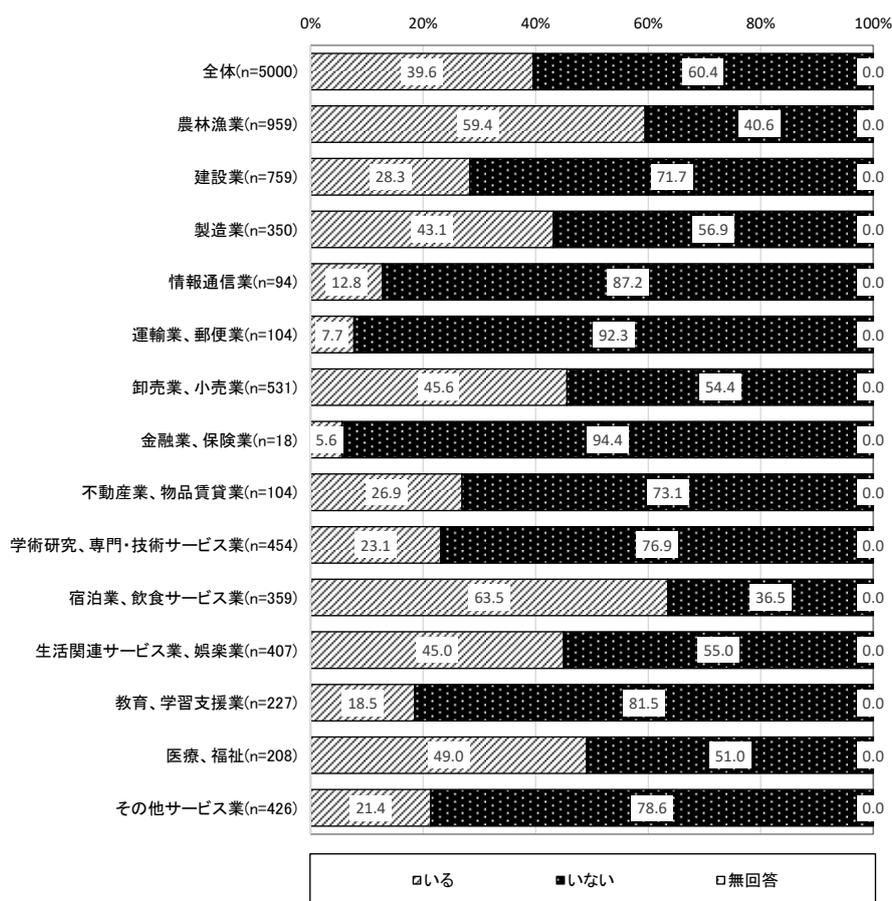
①家族従業者・役員の有無、人数(Q4-1)

家族従業者・役員の有無は、「いる」の割合が39.6%であり、家族従業者・役員数は平均1.7人であった。

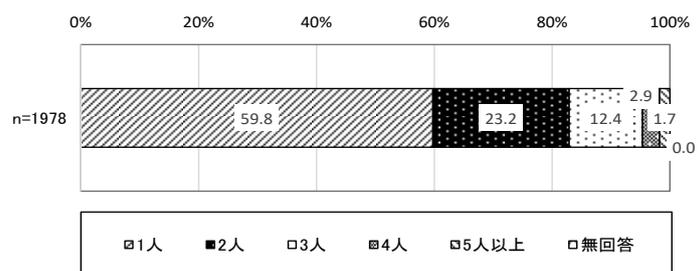
図表2-4-4 家族従業者・役員の有無



図表2-4-5 家族従業者・役員の有無【業種別】



図表2-4-6 家族従業者・役員の人数

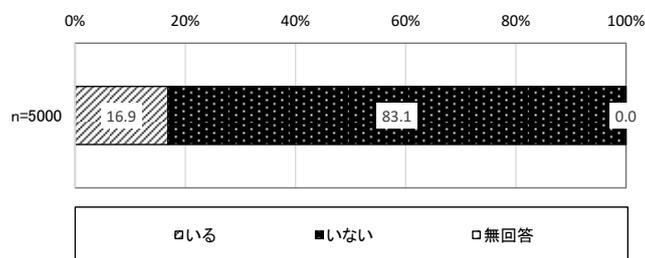


※平均 1.7 人

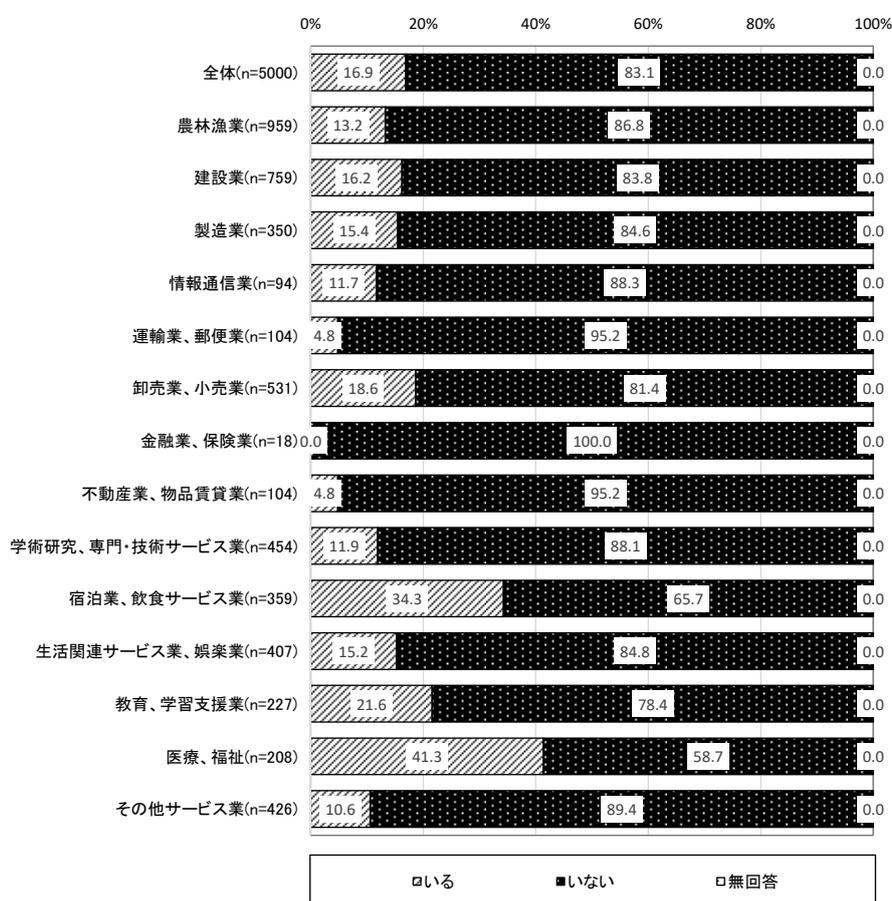
②家族従業者以外の従業員の有無、人数(Q4-2)

家族従業者以外の従業者の有無は、「いる」の割合が16.9%であり、従業員数は平均3.9人であった。

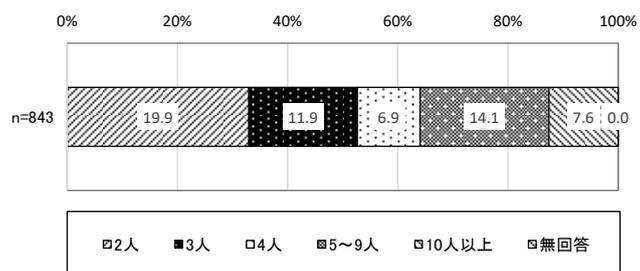
図表2-4-7 家族従業者以外の従業員の有無



図表2-4-8 家族従業者以外の従業員の有無【業種別】



図表2-4-9 家族従業員以外の従業員の人数



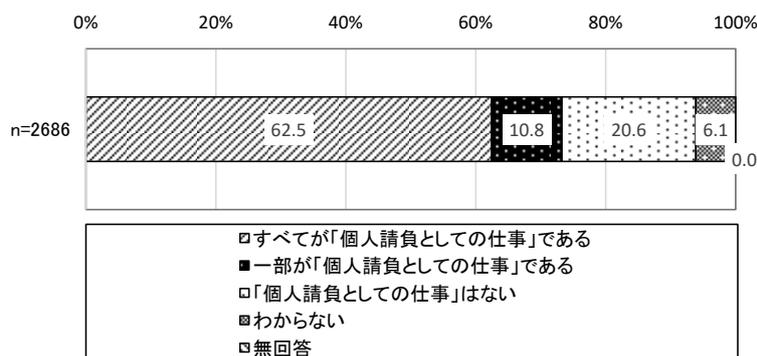
※平均 3.9 人

(5) 個人請負としての仕事の有無(Q5)

家族従業者・役員、従業員のいずれも「いない」と回答した者における、個人請負としての仕事の有無は、「すべてが「個人請負としての仕事」である」の割合が62.5%で最も高く、次いで「個人請負としての仕事」はないが20.6%であった。

なお、「すべてが「個人請負としての仕事」である」と回答した者であって、かつ家族従業者以外の従業員がおらず、消費者向け店舗がない者は1307件(26.1%)であった。

図表2-4-10 個人請負としての仕事の有無



図表2-4-11 個人請負としての仕事の有無【業種別】

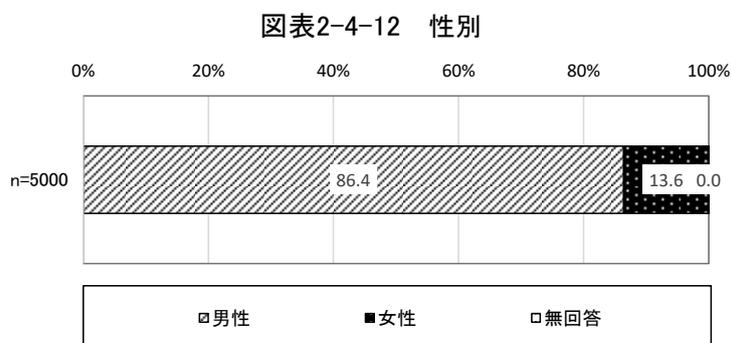
	調査数	上段：件数 (件)					無回答
		すべてが「個人請負としての仕事」である	一部が「個人請負としての仕事」である	「個人請負としての仕事」はない	わからない	無回答	
		下段：割合 (%)					
全体	2686	1678	290	554	164	0	
	100.0	62.5	10.8	20.6	6.1	0.0	
農林漁業	356	133	24	159	40	0	
	100.0	37.4	6.7	44.7	11.2	0.0	
建設業	492	340	94	40	18	0	
	100.0	69.1	19.1	8.1	3.7	0.0	
製造業	180	124	20	26	10	0	
	100.0	68.9	11.1	14.4	5.6	0.0	
情報通信業	75	54	11	8	2	0	
	100.0	72.0	14.7	10.7	2.7	0.0	
運輸業、郵便業	92	68	5	15	4	0	
	100.0	73.9	5.4	16.3	4.3	0.0	
卸売業、小売業	256	136	15	88	17	0	
	100.0	53.1	5.9	34.4	6.6	0.0	
金融業、保険業	17	11	1	5	0	0	
	100.0	64.7	5.9	29.4	0.0	0.0	
不動産業、物品賃貸業	75	35	5	30	5	0	
	100.0	46.7	6.7	40.0	6.7	0.0	
学術研究、専門・技術サービス業	317	232	41	34	10	0	
	100.0	73.2	12.9	10.7	3.2	0.0	
宿泊業、飲食サービス業	93	48	6	24	15	0	
	100.0	51.6	6.5	25.8	16.1	0.0	
生活関連サービス業、娯楽業	193	141	10	33	9	0	
	100.0	73.1	5.2	17.1	4.7	0.0	
教育、学習支援業	153	96	17	33	7	0	
	100.0	62.7	11.1	21.6	4.6	0.0	
医療、福祉	77	56	3	12	6	0	
	100.0	72.7	3.9	15.6	7.8	0.0	
その他サービス業	310	204	38	47	21	0	
	100.0	65.8	12.3	15.2	6.8	0.0	

2) 回答者の属性

(1) 性別・年齢

①性別(Q6)

性別は、「男性」の割合が 86.4%、「女性」が 13.6%であった。



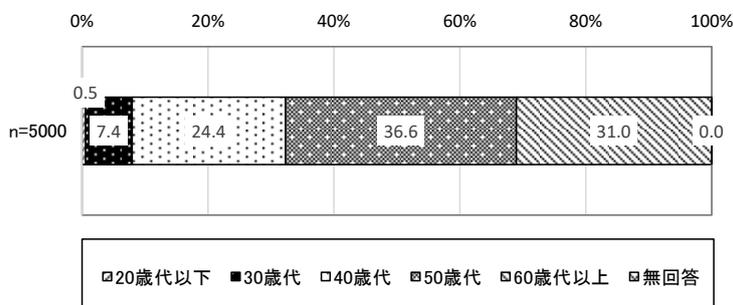
図表2-4-13 性別【年齢階級別】

	調査数	性別		
		男性	女性	無回答
全体	5000	4320	680	0
	100.0	86.4	13.6	0.0
農林漁業	959	821	138	0
	100.0	85.6	14.4	0.0
建設業	759	710	49	0
	100.0	93.5	6.5	0.0
製造業	350	316	34	0
	100.0	90.3	9.7	0.0
情報通信業	94	90	4	0
	100.0	95.7	4.3	0.0
運輸業、郵便業	104	100	4	0
	100.0	96.2	3.8	0.0
卸売業、小売業	531	478	53	0
	100.0	90.0	10.0	0.0
金融業、保険業	18	17	1	0
	100.0	94.4	5.6	0.0
不動産業、物品賃貸業	104	94	10	0
	100.0	90.4	9.6	0.0
学術研究、専門・技術サービス業	454	405	49	0
	100.0	89.2	10.8	0.0
宿泊業、飲食サービス業	359	266	93	0
	100.0	74.1	25.9	0.0
生活関連サービス業、娯楽業	407	314	93	0
	100.0	77.1	22.9	0.0
教育、学習支援業	227	150	77	0
	100.0	66.1	33.9	0.0
医療、福祉	208	187	21	0
	100.0	89.9	10.1	0.0
その他サービス業	426	372	54	0
	100.0	87.3	12.7	0.0

②年齢(Q7)

年齢は、「50歳代」の割合が36.6%で最も高く、次いで「60歳代以上」が31.0%であり、平均54.2歳であった。

図表2-4-14 年齢



図表2-4-15 年齢【業種別】

	調査数	上段：件数 (件)					無回答	平均 (単位：歳)
		20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上		
全体	5000	27	372	1218	1832	1549	2	54.2
	100.0	0.5	7.4	24.4	36.6	31.0	0.0	
農林漁業	959	10	141	203	240	363	2	54.0
	100.0	1.0	14.7	21.2	25.0	37.9	0.2	
建設業	759	3	43	198	310	205	0	53.9
	100.0	0.4	5.7	26.1	40.8	27.0	0.0	
製造業	350	1	16	82	136	115	0	55.4
	100.0	0.3	4.6	23.4	38.9	32.9	0.0	
情報通信業	94	1	5	24	44	20	0	53.5
	100.0	1.1	5.3	25.5	46.8	21.3	0.0	
運輸業、郵便業	104	1	3	22	49	29	0	54.7
	100.0	1.0	2.9	21.2	47.1	27.9	0.0	
卸売業、小売業	531	0	22	123	212	174	0	55.5
	100.0	0.0	4.1	23.2	39.9	32.8	0.0	
金融業、保険業	18	0	0	5	7	6	0	53.9
	100.0	0.0	0.0	27.8	38.9	33.3	0.0	
不動産業、物品賃貸業	104	0	2	10	50	42	0	58.5
	100.0	0.0	1.9	9.6	48.1	40.4	0.0	
学術研究、専門・技術サービス業	454	1	22	97	165	169	0	55.8
	100.0	0.2	4.8	21.4	36.3	37.2	0.0	
宿泊業、飲食サービス業	359	3	25	109	122	100	0	53.3
	100.0	0.8	7.0	30.4	34.0	27.9	0.0	
生活関連サービス業、娯楽業	407	3	37	133	175	59	0	51.0
	100.0	0.7	9.1	32.7	43.0	14.5	0.0	
教育、学習支援業	227	2	19	57	88	61	0	53.1
	100.0	0.9	8.4	25.1	38.8	26.9	0.0	
医療、福祉	208	0	15	47	87	59	0	53.8
	100.0	0.0	7.2	22.6	41.8	28.4	0.0	
その他サービス業	426	2	22	108	147	147	0	54.7
	100.0	0.5	5.2	25.4	34.5	34.5	0.0	

図表2-4-16 年齢【性別】

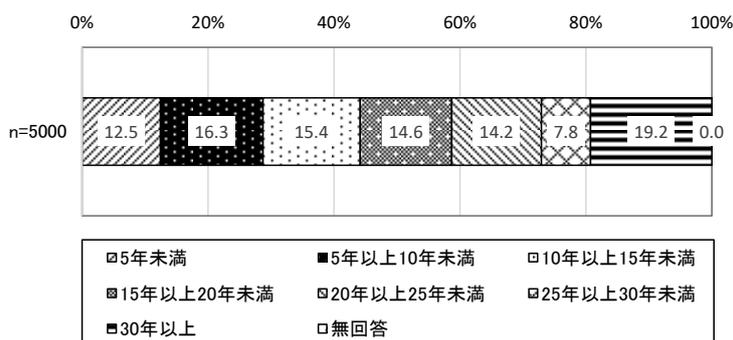
	調査数	上段：件数（件）					無回答	平均 （単位： 歳）
		20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上		
全体	5000 100.0	27 0.5	372 7.4	1218 24.4	1832 36.6	1549 31.0	2 0.0	54.2
男性	4320 100.0	12 0.3	239 5.5	1010 23.4	1634 37.8	1423 32.9	2 0.0	55.0
女性	680 100.0	15 2.2	133 19.6	208 30.6	198 29.1	126 18.5	0 0.0	49.0

※全体の調査数には性別が無回答のものを含むため、全体の調査数は各性別の調査数の合計と一致しない。

(2) 自営業者としての経験年数(Q8)

自営業者としての経験年数は、「30年以上」の割合が19.2%で最も高く、次いで「5年以上10年未満」が16.3%であり、平均17.5年であった。

図表2-4-17 自営業者としての経験年数



※平均17.5年

図表2-4-18 自営業者としての経験年数【業種別】

上段：件数（件）
下段：割合（％）

	調査数	5年未満	10年以上未満	15年以上未満	20年以上未満	25年以上未満	30年以上未満	35年以上	無回答	平均（単位：年）
全体	5000 100.0	624 12.5	813 16.3	771 15.4	728 14.6	712 14.2	390 7.8	962 19.2	0 0.0	17.5
農林漁業	959 100.0	170 17.7	194 20.2	170 17.7	115 12.0	94 9.8	40 4.2	176 18.4	0 0.0	15.5
建設業	759 100.0	71 9.4	91 12.0	109 14.4	110 14.5	155 20.4	71 9.4	152 20.0	0 0.0	18.8
製造業	350 100.0	43 12.3	37 10.6	38 10.9	58 16.6	52 14.9	26 7.4	96 27.4	0 0.0	19.8
情報通信業	94 100.0	11 11.7	15 16.0	24 25.5	14 14.9	17 18.1	6 6.4	7 7.4	0 0.0	14.8
運輸業、郵便業	104 100.0	22 21.2	23 22.1	15 14.4	13 12.5	10 9.6	6 5.8	15 14.4	0 0.0	13.9
卸売業、小売業	531 100.0	45 8.5	65 12.2	81 15.3	82 15.4	65 12.2	48 9.0	145 27.3	0 0.0	20.3
金融業、保険業	18 100.0	4 22.2	5 27.8	3 16.7	3 16.7	0 0.0	2 11.1	1 5.6	0 0.0	11.5
不動産業、物品賃貸業	104 100.0	6 5.8	24 23.1	15 14.4	22 21.2	20 19.2	7 6.7	10 9.6	0 0.0	16.1
学術研究、専門・技術サービス業	454 100.0	56 12.3	76 16.7	79 17.4	80 17.6	71 15.6	30 6.6	62 13.7	0 0.0	16.4
宿泊業、飲食サービス業	359 100.0	45 12.5	66 18.4	59 16.4	51 14.2	50 13.9	20 5.6	68 18.9	0 0.0	16.9
生活関連サービス業、娯楽業	407 100.0	48 11.8	58 14.3	53 13.0	57 14.0	74 18.2	49 12.0	68 16.7	0 0.0	17.8
教育、学習支援業	227 100.0	27 11.9	40 17.6	37 16.3	30 13.2	24 10.6	28 12.3	41 18.1	0 0.0	17.6
医療、福祉	208 100.0	16 7.7	25 12.0	26 12.5	30 14.4	25 12.0	33 15.9	53 25.5	0 0.0	20.5
その他サービス業	426 100.0	60 14.1	94 22.1	62 14.6	63 14.8	55 12.9	24 5.6	68 16.0	0 0.0	15.7

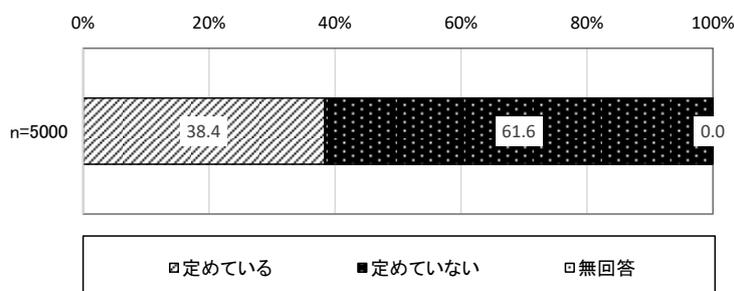
3) 回答者の働き方

(1) 営業時間

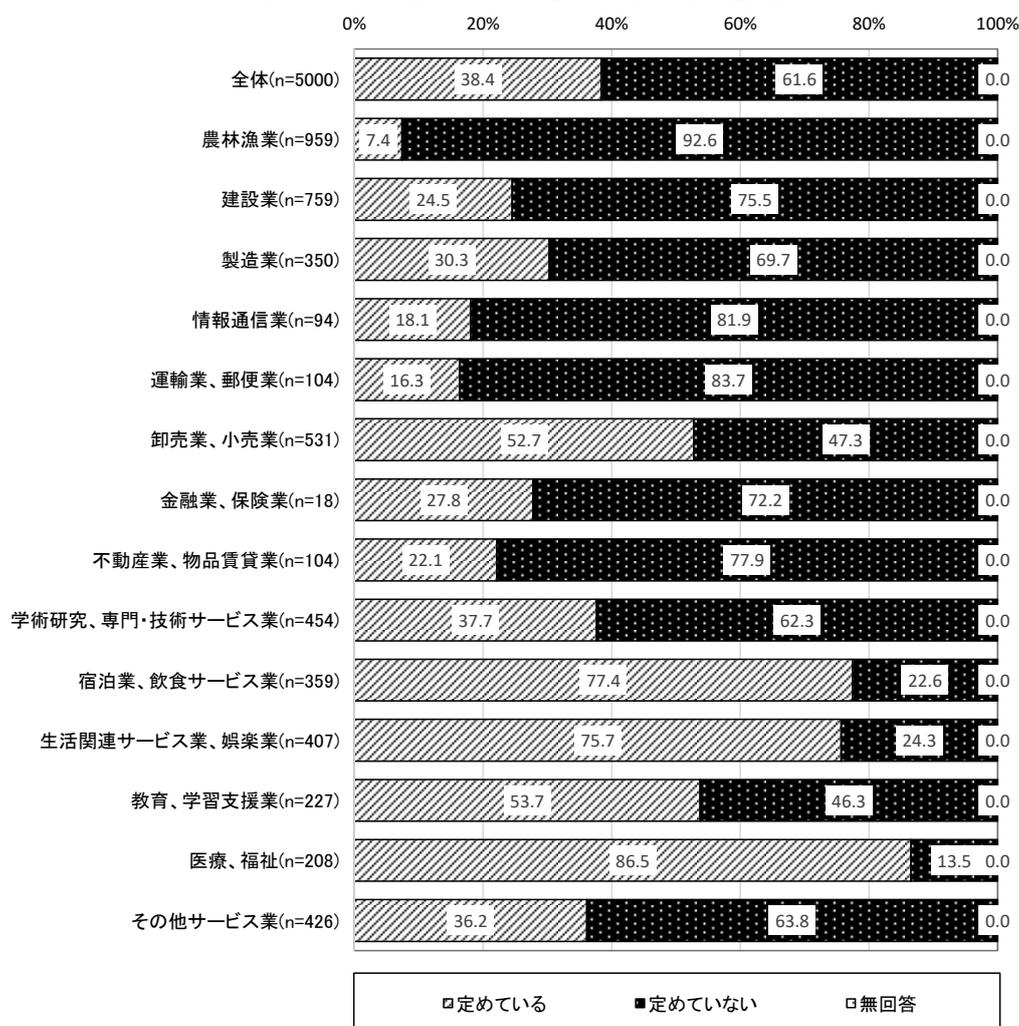
① 営業時間の定めの有無(Q9-1)

営業時間の定めの有無は、「定めている」の割合が38.4%、「定めていない」が61.6%であった。

図表2-4-19 営業時間の定めの有無



図表2-4-20 営業時間の定めの有無【業種別】

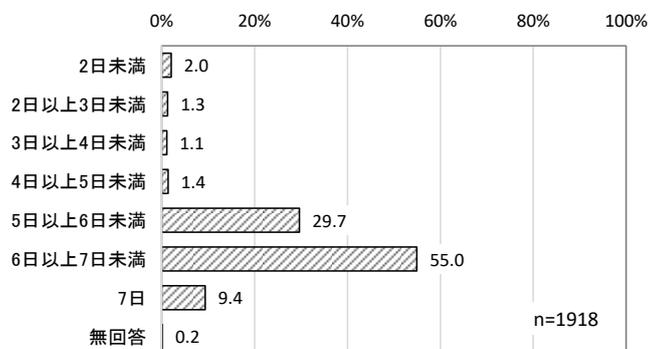


② 1週間当たりの営業日数・1日の営業時間(Q9-2)

・ 1週間当たりの営業日数

営業時間を「定めている」と回答した者における1週間当たりの営業日数は、「6日以上7日未満」の割合が55.0%で最も高く、平均5.6日であった。

図表2-4-21 1週間当たりの営業日数



※平均 5.6 日

図表2-4-22 1週間当たりの営業日数【業種別】

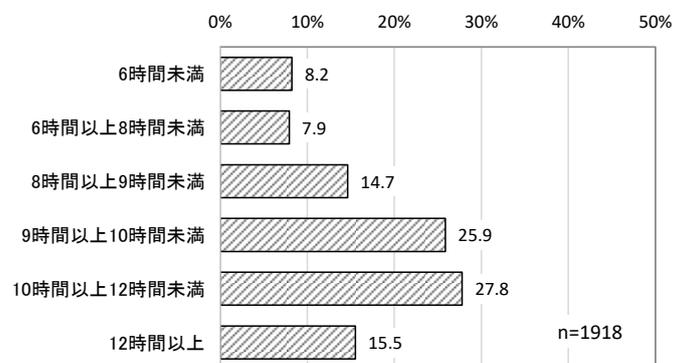
上段：件数（件）
下段：割合（%）

	調査数	2日未満	3日未満	4日未満	5日未満	6日未満	7日未満	7日	無回答	平均（単位：日）
全体	1918	39	25	21	27	569	1054	180	3	5.6
	100.0	2.0	1.3	1.1	1.4	29.7	55.0	9.4	0.2	
農林漁業	71	1	2	1	3	20	28	16	0	5.6
	100.0	1.4	2.8	1.4	4.2	28.2	39.4	22.5	0.0	
建設業	186	6	0	3	3	64	105	4	1	5.4
	100.0	3.2	0.0	1.6	1.6	34.4	56.5	2.2	0.5	
製造業	106	2	0	0	0	52	50	2	0	5.4
	100.0	1.9	0.0	0.0	0.0	49.1	47.2	1.9	0.0	
情報通信業	17	0	0	0	0	14	2	1	0	5.2
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	82.4	11.8	5.9	0.0	
運輸業、郵便業	17	0	1	2	0	8	6	0	0	4.9
	100.0	0.0	5.9	11.8	0.0	47.1	35.3	0.0	0.0	
卸売業、小売業	280	6	0	0	2	55	163	54	0	5.9
	100.0	2.1	0.0	0.0	0.7	19.6	58.2	19.3	0.0	
金融業、保険業	5	0	0	0	0	4	0	1	0	5.4
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	0.0	20.0	0.0	
不動産業、物品賃貸業	23	0	0	1	0	11	11	0	0	5.4
	100.0	0.0	0.0	4.3	0.0	47.8	47.8	0.0	0.0	
学術研究、専門・技術サービス業	171	7	3	2	2	104	47	5	1	5.1
	100.0	4.1	1.8	1.2	1.2	60.8	27.5	2.9	0.6	
宿泊業、飲食サービス業	278	6	0	0	3	33	187	48	1	5.9
	100.0	2.2	0.0	0.0	1.1	11.9	67.3	17.3	0.4	
生活関連サービス業、娯楽業	308	4	0	1	4	58	218	23	0	5.8
	100.0	1.3	0.0	0.3	1.3	18.8	70.8	7.5	0.0	
教育、学習支援業	122	1	17	5	8	42	46	3	0	4.8
	100.0	0.8	13.9	4.1	6.6	34.4	37.7	2.5	0.0	
医療、福祉	180	1	0	2	2	51	118	6	0	5.7
	100.0	0.6	0.0	1.1	1.1	28.3	65.6	3.3	0.0	
その他サービス業	154	5	2	4	0	53	73	17	0	5.5
	100.0	3.2	1.3	2.6	0.0	34.4	47.4	11.0	0.0	

・ 1日の営業時間

営業時間を「定めている」と回答した者における1日当たりの営業時間は、「10時間以上12時間未満」の割合が27.8%で最も高く、平均10.1時間であった。

図表2-4-23 1日当たりの営業時間

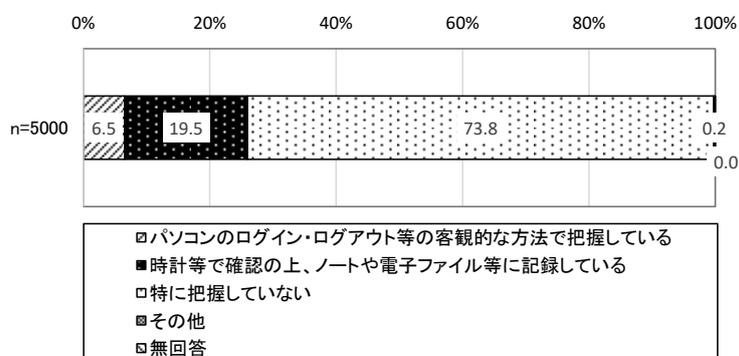


※平均 10.1 時間

(2) 就労日数・就労時間の把握方法(Q10)

就労日数・就労時間の把握方法は、「特に把握していない」の割合が73.8%で最も高く、次いで「時計等で確認の上、ノートや電子ファイル等に記録している」が19.5%であった。

図表2-4-24 就労日数・就労時間の把握方法



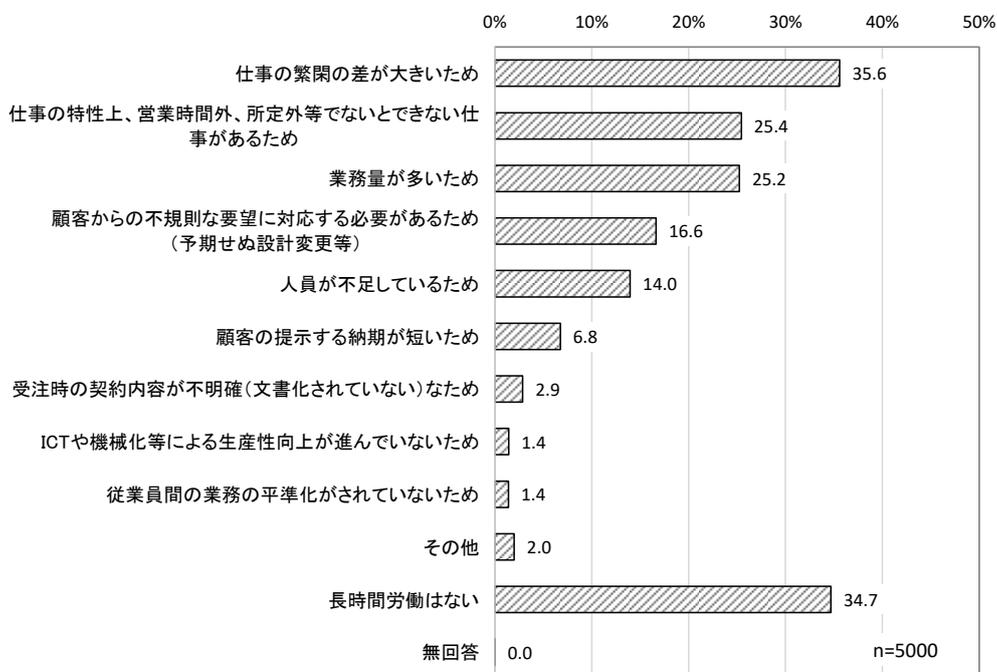
図表2-4-25 就労日数・就労時間の把握方法【業種別】

	調査数	上段：件数 (件)					無回答
		客観的な方法で把握している	時計等で確認の上、ノートや電子ファイル等に記録している	特に把握していない	その他	無回答	
		下段：割合 (%)					
全体	5000	326	973	3689	11	1	
	100.0	6.5	19.5	73.8	0.2	0.0	
農林漁業	959	25	155	777	2	0	
	100.0	2.6	16.2	81.0	0.2	0.0	
建設業	759	40	255	463	1	0	
	100.0	5.3	33.6	61.0	0.1	0.0	
製造業	350	23	52	273	2	0	
	100.0	6.6	14.9	78.0	0.6	0.0	
情報通信業	94	13	14	67	0	0	
	100.0	13.8	14.9	71.3	0.0	0.0	
運輸業、郵便業	104	6	41	56	1	0	
	100.0	5.8	39.4	53.8	1.0	0.0	
卸売業、小売業	531	51	46	434	0	0	
	100.0	9.6	8.7	81.7	0.0	0.0	
金融業、保険業	18	2	1	15	0	0	
	100.0	11.1	5.6	83.3	0.0	0.0	
不動産業、物品賃貸業	104	8	12	84	0	0	
	100.0	7.7	11.5	80.8	0.0	0.0	
学術研究、専門・技術サービス業	454	35	113	305	1	0	
	100.0	7.7	24.9	67.2	0.2	0.0	
宿泊業、飲食サービス業	359	18	55	285	1	0	
	100.0	5.0	15.3	79.4	0.3	0.0	
生活関連サービス業、娯楽業	407	26	71	308	2	0	
	100.0	6.4	17.4	75.7	0.5	0.0	
教育、学習支援業	227	19	59	148	1	0	
	100.0	8.4	26.0	65.2	0.4	0.0	
医療、福祉	208	14	34	160	0	0	
	100.0	6.7	16.3	76.9	0.0	0.0	
その他サービス業	426	46	65	314	0	1	
	100.0	10.8	15.3	73.7	0.0	0.2	

(3) 長時間労働が必要となる理由(Q11)

長時間労働が必要となる理由は、「仕事の繁閑の差が大きい」との割合が 35.6%で最も高く、次いで「仕事の特性上、営業時間外、所定外等でないとできない仕事があるため」が 25.4%であった。

図表2-4-26 長時間労働が必要となる理由（複数回答）



図表2-4-27 長時間労働が必要となる理由（複数回答）【業種別】

上段：件数（件）
下段：割合（%）

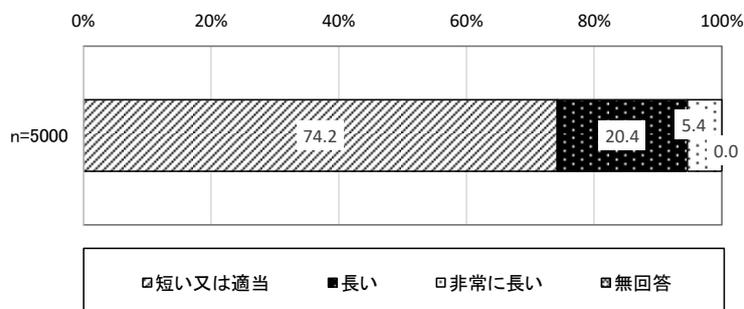
	合計	業務量が多いため	人員が不足しているため	仕事の繁閑の差が大きい	仕事の特性上、営業時間外、所定外等でないことできない仕事があるため	従業員間の業務の標準化がされていないため	ICTや機械化等による生産性向上が進んでいない	顧客の提示する納期が短い	顧客からの不規則な要望に（予期せぬ設計変更等）対応する必要があるため	受注時の契約内容が不明確（文書化されていない）	その他	長時間労働はない	無回答
全体	5000 100.0	1262 25.2	698 14.0	1779 35.6	1272 25.4	70 1.4	72 1.4	338 6.8	832 16.6	144 2.9	100 2.0	1734 34.7	1 0.0
農林漁業	959 100.0	284 29.6	193 20.1	462 48.2	207 21.6	13 1.4	40 4.2	11 1.1	26 2.7	5 0.5	26 2.7	286 29.8	0 0.0
建設業	759 100.0	239 31.5	136 17.9	290 38.2	232 30.6	13 1.7	3 0.4	98 12.9	172 22.7	38 5.0	11 1.4	211 27.8	0 0.0
製造業	350 100.0	116 33.1	53 15.1	147 42.0	63 18.0	6 1.7	7 2.0	78 22.3	90 25.7	25 7.1	5 1.4	90 25.7	0 0.0
情報通信業	94 100.0	33 35.1	13 13.8	30 31.9	22 23.4	1 1.1	1 1.1	12 12.8	27 28.7	5 5.3	2 2.1	30 31.9	0 0.0
運輸業、郵便業	104 100.0	18 17.3	6 5.8	21 20.2	36 34.6	3 2.9	0 0.0	3 2.9	12 11.5	5 4.8	3 2.9	39 37.5	0 0.0
卸売業、小売業	531 100.0	103 19.4	70 13.2	150 28.2	143 26.9	7 1.3	6 1.1	19 3.6	81 15.3	11 2.1	12 2.3	219 41.2	1 0.2
金融業、保険業	18 100.0	4 22.2	0 0.0	7 38.9	6 33.3	0 0.0	0 0.0	1 5.6	4 22.2	0 0.0	0 0.0	6 33.3	0 0.0
不動産業、物品賃貸業	104 100.0	6 5.8	3 2.9	15 14.4	14 13.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	13 12.5	1 1.0	2 1.9	73 70.2	0 0.0
学術研究、専門・技術サービス業	454 100.0	146 32.2	40 8.8	194 42.7	156 34.4	4 0.9	6 1.3	76 16.7	141 31.1	29 6.4	12 2.6	106 23.3	0 0.0
宿泊業、飲食サービス業	359 100.0	106 29.5	75 20.9	126 35.1	109 30.4	10 2.8	3 0.8	2 0.6	43 12.0	4 1.1	8 2.2	108 30.1	0 0.0
生活関連サービス業、娯楽業	407 100.0	53 13.0	36 8.8	126 31.0	97 23.8	3 0.7	1 0.2	12 2.9	80 19.7	4 1.0	10 2.5	158 38.8	0 0.0
教育、学習支援業	227 100.0	44 19.4	17 7.5	47 20.7	49 21.6	4 1.8	2 0.9	2 0.9	42 18.5	3 1.3	2 0.9	107 47.1	0 0.0
医療、福祉	208 100.0	36 17.3	17 8.2	47 22.6	56 26.9	1 0.5	1 0.5	3 1.4	25 12.0	1 0.5	4 1.9	92 44.2	0 0.0
複合サービス事業	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他サービス業	426 100.0	74 17.4	39 9.2	117 27.5	82 19.2	5 1.2	2 0.5	21 4.9	76 17.8	13 3.1	3 0.7	209 49.1	0 0.0

(4) 直近1か月(2019年9月)の状況

① 1か月の実際の就労時間(Q12-1)

1か月の実際の就労時間は、「短い又は適当」の割合が74.2%で最も高く、次いで「長い」が20.4%であった。

図表2-4-28 1か月の実際の就労時間



図表2-4-29 1か月の実際の就労時間【業種別】

	調査数	上段：件数 (件)				下段：割合 (%)			
		短い又は適当	長い	非常に長い	無回答	短い又は適当	長い	非常に長い	無回答
全体	5000	3710	1021	269	0	74.2	20.4	5.4	0.0
農林漁業	959	684	215	60	0	71.3	22.4	6.3	0.0
建設業	759	594	132	33	0	78.3	17.4	4.3	0.0
製造業	350	255	77	18	0	72.9	22.0	5.1	0.0
情報通信業	94	81	11	2	0	86.2	11.7	2.1	0.0
運輸業、郵便業	104	69	27	8	0	66.3	26.0	7.7	0.0
卸売業、小売業	531	396	99	36	0	74.6	18.6	6.8	0.0
金融業、保険業	18	16	2	0	0	88.9	11.1	0.0	0.0
不動産業、物品賃貸業	104	99	5	0	0	95.2	4.8	0.0	0.0
学術研究、専門・技術サービス業	454	326	102	26	0	71.8	22.5	5.7	0.0
宿泊業、飲食サービス業	359	208	120	31	0	57.9	33.4	8.6	0.0
生活関連サービス業、娯楽業	407	305	87	15	0	74.9	21.4	3.7	0.0
教育、学習支援業	227	180	40	7	0	79.3	17.6	3.1	0.0
医療、福祉	208	159	39	10	0	76.4	18.8	4.8	0.0
その他サービス業	426	338	65	23	0	79.3	15.3	5.4	0.0

図表2-4-30 1か月の実際の就労時間【年齢階級別】

上段：件数（件）
下段：割合（%）

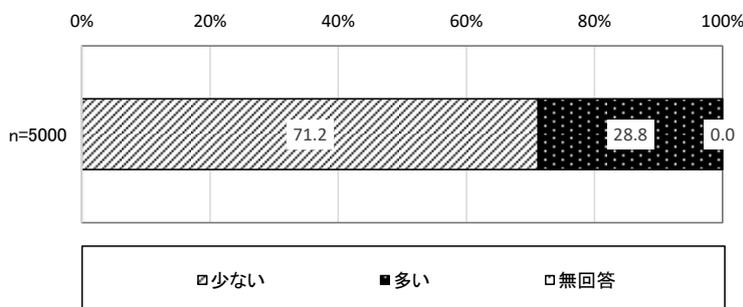
	調査数	短い又は適当	長い	非常に長い	無回答
全体	5000 100.0	3710 74.2	1021 20.4	269 5.4	0 0.0
20歳代以下	27 100.0	15 55.6	8 29.6	4 14.8	0 0.0
30歳代	372 100.0	255 68.5	88 23.7	29 7.8	0 0.0
40歳代	1218 100.0	834 68.5	287 23.6	97 8.0	0 0.0
50歳代	1832 100.0	1344 73.4	393 21.5	95 5.2	0 0.0
60歳代以上	1549 100.0	1260 81.3	245 15.8	44 2.8	0 0.0

※全体の調査数には年齢階級が無回答のものを含むため、全体の調査数は各年齢階級の調査数の合計と一致しない。

②不規則な労働（予定の変更、突然の仕事）(Q12-2)

不規則な労働（予定の変更、突然の仕事）は、「少ない」の割合が71.2%、「多い」が28.8%であった。

図表2-4-31 不規則な労働（予定の変更、突然の仕事）



図表2-4-32 不規則な労働（予定の変更、突然の仕事）【業種別】

	調査数	上段：件数（件） 下段：割合（%）		
		少ない	多い	無回答
全体	5000	3560	1440	0
	100.0	71.2	28.8	0.0
農林漁業	959	618	341	0
	100.0	64.4	35.6	0.0
建設業	759	538	221	0
	100.0	70.9	29.1	0.0
製造業	350	240	110	0
	100.0	68.6	31.4	0.0
情報通信業	94	68	26	0
	100.0	72.3	27.7	0.0
運輸業、郵便業	104	71	33	0
	100.0	68.3	31.7	0.0
卸売業、小売業	531	395	136	0
	100.0	74.4	25.6	0.0
金融業、保険業	18	10	8	0
	100.0	55.6	44.4	0.0
不動産業、物品賃貸業	104	91	13	0
	100.0	87.5	12.5	0.0
学術研究、専門・技術サービス業	454	292	162	0
	100.0	64.3	35.7	0.0
宿泊業、飲食サービス業	359	259	100	0
	100.0	72.1	27.9	0.0
生活関連サービス業、娯楽業	407	326	81	0
	100.0	80.1	19.9	0.0
教育、学習支援業	227	169	58	0
	100.0	74.4	25.6	0.0
医療、福祉	208	169	39	0
	100.0	81.3	18.8	0.0
その他サービス業	426	314	112	0
	100.0	73.7	26.3	0.0

図表2-4-33 不規則な労働（予定の変更、突然の仕事）【年齢階級別】

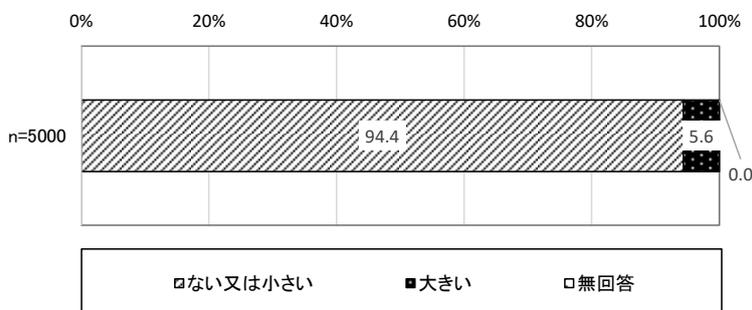
	調査数	上段：件数（件） 下段：割合（%）		
		少ない	多い	無回答
全体	5000 100.0	3560 71.2	1440 28.8	0 0.0
20歳代以下	27 100.0	13 48.1	14 51.9	0 0.0
30歳代	372 100.0	238 64.0	134 36.0	0 0.0
40歳代	1218 100.0	829 68.1	389 31.9	0 0.0
50歳代	1832 100.0	1326 72.4	506 27.6	0 0.0
60歳代以上	1549 100.0	1153 74.4	396 25.6	0 0.0

※全体の調査数には年齢階級が無回答のものを含むため、全体の調査数は各年齢階級の調査数の合計と一致しない

③出張に伴う負担（頻度・拘束時間・時差など）（Q12-3）

出張に伴う負担（頻度・拘束時間・時差など）は、「ない又は小さい」の割合が94.4%、「大きい」が5.6%であった。

図表2-4-34 出張に伴う負担（頻度・拘束時間・時差など）



図表2-4-35 出張に伴う負担（頻度・拘束時間・時差など）【業種別】

	調査数	上段：件数（件） 下段：割合（%）		
		ない又は小さい	大きい	無回答
全体	5000	4718	282	0
	100.0	94.4	5.6	0.0
農林漁業	959	935	24	0
	100.0	97.5	2.5	0.0
建設業	759	689	70	0
	100.0	90.8	9.2	0.0
製造業	350	332	18	0
	100.0	94.9	5.1	0.0
情報通信業	94	84	10	0
	100.0	89.4	10.6	0.0
運輸業、郵便業	104	98	6	0
	100.0	94.2	5.8	0.0
卸売業、小売業	531	506	25	0
	100.0	95.3	4.7	0.0
金融業、保険業	18	18	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0
不動産業、物品賃貸業	104	103	1	0
	100.0	99.0	1.0	0.0
学術研究、専門・技術サービス業	454	400	54	0
	100.0	88.1	11.9	0.0
宿泊業、飲食サービス業	359	348	11	0
	100.0	96.9	3.1	0.0
生活関連サービス業、娯楽業	407	388	19	0
	100.0	95.3	4.7	0.0
教育、学習支援業	227	218	9	0
	100.0	96.0	4.0	0.0
医療、福祉	208	204	4	0
	100.0	98.1	1.9	0.0
その他サービス業	426	395	31	0
	100.0	92.7	7.3	0.0

図表2-4-36 出張に伴う負担（頻度・拘束時間・時差など）【年齢階級別】

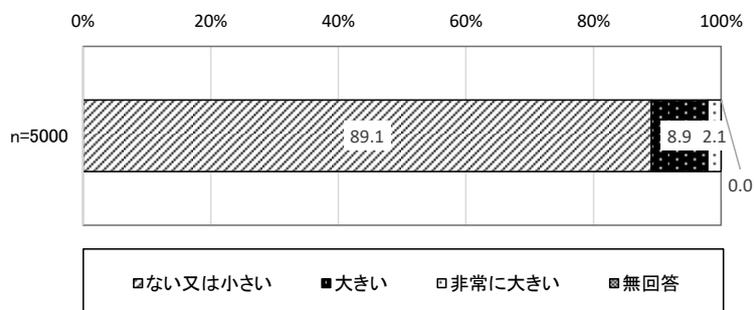
	調査数	ない又は小さい	大きい	無回答	上段：件数（件）
					下段：割合（％）
全体	5000	4718	282	0	
	100.0	94.4	5.6	0.0	
20歳代以下	27	24	3	0	
	100.0	88.9	11.1	0.0	
30歳代	372	351	21	0	
	100.0	94.4	5.6	0.0	
40歳代	1218	1141	77	0	
	100.0	93.7	6.3	0.0	
50歳代	1832	1730	102	0	
	100.0	94.4	5.6	0.0	
60歳代以上	1549	1470	79	0	
	100.0	94.9	5.1	0.0	

※全体の調査数には年齢階級が無回答のものを含むため、全体の調査数は各年齢階級の調査数の合計と一致しない。

④深夜労働に伴う負担(Q12-4)

深夜労働に伴う負担は、「ない又は小さい」の割合が89.1%で最も高く、次いで「大きい」が8.9%であった。

図表2-4-37 深夜労働に伴う負担



図表2-4-38 深夜労働に伴う負担【業種別】

	調査数	上段：件数 (件)				下段：割合 (%)			
		ない又は小さい	大きい	非常に大きい	無回答	ない又は小さい	大きい	非常に大きい	無回答
全体	5000	4453	443	104	0	89.1	8.9	2.1	0.0
農林漁業	959	888	60	11	0	92.6	6.3	1.1	0.0
建設業	759	672	75	12	0	88.5	9.9	1.6	0.0
製造業	350	309	32	9	0	88.3	9.1	2.6	0.0
情報通信業	94	83	9	2	0	88.3	9.6	2.1	0.0
運輸業、郵便業	104	80	19	5	0	76.9	18.3	4.8	0.0
卸売業、小売業	531	487	32	12	0	91.7	6.0	2.3	0.0
金融業、保険業	18	17	1	0	0	94.4	5.6	0.0	0.0
不動産業、物品賃貸業	104	100	4	0	0	96.2	3.8	0.0	0.0
学術研究、専門・技術サービス業	454	388	55	11	0	85.5	12.1	2.4	0.0
宿泊業、飲食サービス業	359	277	62	20	0	77.2	17.3	5.6	0.0
生活関連サービス業、娯楽業	407	378	24	5	0	92.9	5.9	1.2	0.0
教育、学習支援業	227	209	14	4	0	92.1	6.2	1.8	0.0
医療、福祉	208	195	11	2	0	93.8	5.3	1.0	0.0
その他サービス業	426	370	45	11	0	86.9	10.6	2.6	0.0

図表2-4-39 深夜労働に伴う負担【年齢階級別】

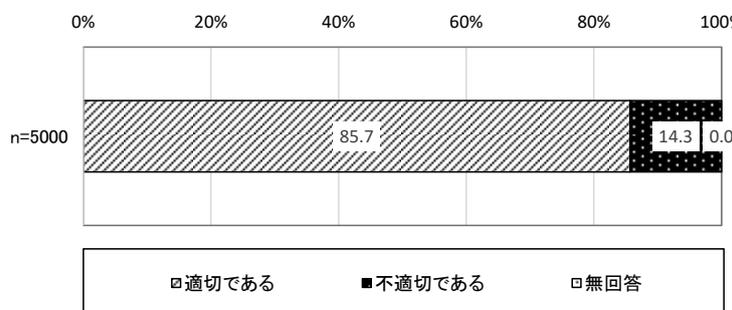
	調査数	上段：件数（件） 下段：割合（%）			
		ない又は小さい	大きい	非常に大きい	無回答
全体	5000 100.0	4453 89.1	443 8.9	104 2.1	0 0.0
20歳代以下	27 100.0	20 74.1	6 22.2	1 3.7	0 0.0
30歳代	372 100.0	325 87.4	38 10.2	9 2.4	0 0.0
40歳代	1218 100.0	1065 87.4	113 9.3	40 3.3	0 0.0
50歳代	1832 100.0	1595 87.1	196 10.7	41 2.2	0 0.0
60歳代以上	1549 100.0	1446 93.4	90 5.8	13 0.8	0 0.0

※全体の調査数には年齢階級が無回答のものを含むため、全体の調査数は各年齢階級の調査数の合計と一致しない。

⑤ 休憩・仮眠の時間数および（休憩・仮眠の）施設(Q12-5)

休憩・仮眠の時間数および（休憩・仮眠の）施設は、「適切である」の割合が 85.7%で最も高く、次いで「不適切である」が 14.3%であった。

図表2-4-40 休憩・仮眠の時間数および（休憩・仮眠の）施設



図表2-4-41 休憩・仮眠の時間数および（休憩・仮眠の）施設【業種別】

	調査数	上段：件数（件）		
		適切である	不適切である	無回答
		下段：割合（%）		
全体	5000	4283	717	0
	100.0	85.7	14.3	0.0
農林漁業	959	826	133	0
	100.0	86.1	13.9	0.0
建設業	759	646	113	0
	100.0	85.1	14.9	0.0
製造業	350	295	55	0
	100.0	84.3	15.7	0.0
情報通信業	94	85	9	0
	100.0	90.4	9.6	0.0
運輸業、郵便業	104	81	23	0
	100.0	77.9	22.1	0.0
卸売業、小売業	531	452	79	0
	100.0	85.1	14.9	0.0
金融業、保険業	18	17	1	0
	100.0	94.4	5.6	0.0
不動産業、物品賃貸業	104	100	4	0
	100.0	96.2	3.8	0.0
学術研究、専門・技術サービス業	454	392	62	0
	100.0	86.3	13.7	0.0
宿泊業、飲食サービス業	359	279	80	0
	100.0	77.7	22.3	0.0
生活関連サービス業、娯楽業	407	339	68	0
	100.0	83.3	16.7	0.0
教育、学習支援業	227	204	23	0
	100.0	89.9	10.1	0.0
医療、福祉	208	192	16	0
	100.0	92.3	7.7	0.0
その他サービス業	426	375	51	0
	100.0	88.0	12.0	0.0

図表2-4-42 休憩・仮眠の時間数および（休憩・仮眠の）施設【年齢階級別】

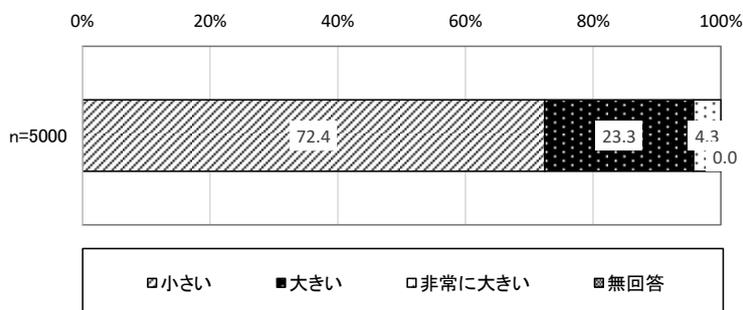
	調査数	適切である	不適切である	無回答	上段：件数（件）
					下段：割合（％）
全体	5000	4283	717	0	
	100.0	85.7	14.3	0.0	
20歳代以下	27	22	5	0	
	100.0	81.5	18.5	0.0	
30歳代	372	317	55	0	
	100.0	85.2	14.8	0.0	
40歳代	1218	1025	193	0	
	100.0	84.2	15.8	0.0	
50歳代	1832	1536	296	0	
	100.0	83.8	16.2	0.0	
60歳代以上	1549	1382	167	0	
	100.0	89.2	10.8	0.0	

※全体の調査数には年齢階級が無回答のものを含むため、全体の調査数は各年齢階級の調査数の合計と一致しない。

⑥就労についての精神的負担(Q12-6)

就労についての精神的負担は、「小さい」の割合が72.4%で最も高く、次いで「大きい」が23.3%であった。

図表2-4-43 就労についての精神的負担



図表2-4-44 就労についての精神的負担【業種別】

	調査数	上段：件数（件） 下段：割合（%）			
		小さい	大きい	非常に大きい	無回答
全体	5000	3621	1166	213	0
	100.0	72.4	23.3	4.3	0.0
農林漁業	959	722	200	37	0
	100.0	75.3	20.9	3.9	0.0
建設業	759	536	192	31	0
	100.0	70.6	25.3	4.1	0.0
製造業	350	237	90	23	0
	100.0	67.7	25.7	6.6	0.0
情報通信業	94	71	23	0	0
	100.0	75.5	24.5	0.0	0.0
運輸業、郵便業	104	76	21	7	0
	100.0	73.1	20.2	6.7	0.0
卸売業、小売業	531	401	113	17	0
	100.0	75.5	21.3	3.2	0.0
金融業、保険業	18	10	6	2	0
	100.0	55.6	33.3	11.1	0.0
不動産業、物品賃貸業	104	94	8	2	0
	100.0	90.4	7.7	1.9	0.0
学術研究、専門・技術サービス業	454	298	131	25	0
	100.0	65.6	28.9	5.5	0.0
宿泊業、飲食サービス業	359	233	108	18	0
	100.0	64.9	30.1	5.0	0.0
生活関連サービス業、娯楽業	407	314	76	17	0
	100.0	77.1	18.7	4.2	0.0
教育、学習支援業	227	159	55	13	0
	100.0	70.0	24.2	5.7	0.0
医療、福祉	208	139	61	8	0
	100.0	66.8	29.3	3.8	0.0
その他サービス業	426	331	82	13	0
	100.0	77.7	19.2	3.1	0.0

図表2-4-45 就労についての精神的負担【年齢階級別】

上段：件数（件）
下段：割合（%）

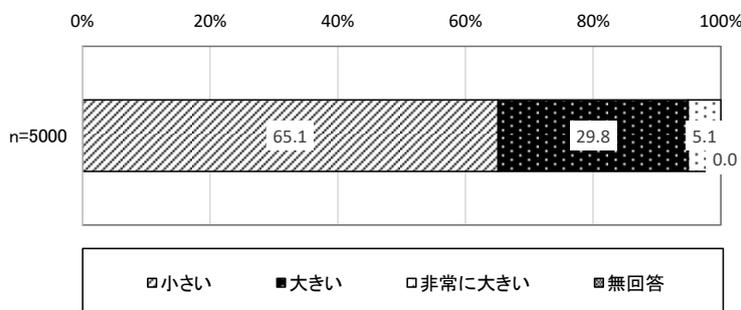
	調査数	小さい	大きい	非常に大きい	無回答
全体	5000 100.0	3621 72.4	1166 23.3	213 4.3	0 0.0
20歳代以下	27 100.0	14 51.9	12 44.4	1 3.7	0 0.0
30歳代	372 100.0	246 66.1	97 26.1	29 7.8	0 0.0
40歳代	1218 100.0	821 67.4	324 26.6	73 6.0	0 0.0
50歳代	1832 100.0	1282 70.0	459 25.1	91 5.0	0 0.0
60歳代以上	1549 100.0	1256 81.1	274 17.7	19 1.2	0 0.0

※全体の調査数には年齢階級が無回答のものを含むため、全体の調査数は各年齢階級の調査数の合計と一致しない。

⑦就労についての身体的負担(Q12-7)

就労についての身体的負担は、「小さい」の割合が65.1%で最も高く、次いで「大きい」が29.8%であった。

図表2-4-46 就労についての身体的負担



図表2-4-47 就労についての身体的負担【業種別】

	調査数	上段：件数 (件)				下段：割合 (%)				
		小さい	大きい	非常に大きい	無回答	小さい	大きい	非常に大きい	無回答	
全体	5000	3255	1490	255	0	100.0	65.1	29.8	5.1	0.0
農林漁業	959	450	427	82	0	100.0	46.9	44.5	8.6	0.0
建設業	759	459	267	33	0	100.0	60.5	35.2	4.3	0.0
製造業	350	224	103	23	0	100.0	64.0	29.4	6.6	0.0
情報通信業	94	79	14	1	0	100.0	84.0	14.9	1.1	0.0
運輸業、郵便業	104	63	33	8	0	100.0	60.6	31.7	7.7	0.0
卸売業、小売業	531	404	110	17	0	100.0	76.1	20.7	3.2	0.0
金融業、保険業	18	13	5	0	0	100.0	72.2	27.8	0.0	0.0
不動産業、物品賃貸業	104	99	4	1	0	100.0	95.2	3.8	1.0	0.0
学術研究、専門・技術サービス業	454	327	110	17	0	100.0	72.0	24.2	3.7	0.0
宿泊業、飲食サービス業	359	209	128	22	0	100.0	58.2	35.7	6.1	0.0
生活関連サービス業、娯楽業	407	286	102	19	0	100.0	70.3	25.1	4.7	0.0
教育、学習支援業	227	178	44	5	0	100.0	78.4	19.4	2.2	0.0
医療、福祉	208	138	62	8	0	100.0	66.3	29.8	3.8	0.0
その他サービス業	426	326	81	19	0	100.0	76.5	19.0	4.5	0.0

図表2-4-48 就労についての身体的負担【年齢階級別】

上段：件数（件）

下段：割合（％）

	調査数	小さい	大きい	非常に大きい	無回答
全体	5000 100.0	3255 65.1	1490 29.8	255 5.1	0 0.0
20歳代以下	27 100.0	8 29.6	17 63.0	2 7.4	0 0.0
30歳代	372 100.0	197 53.0	142 38.2	33 8.9	0 0.0
40歳代	1218 100.0	735 60.3	396 32.5	87 7.1	0 0.0
50歳代	1832 100.0	1193 65.1	538 29.4	101 5.5	0 0.0
60歳代以上	1549 100.0	1122 72.4	395 25.5	32 2.1	0 0.0

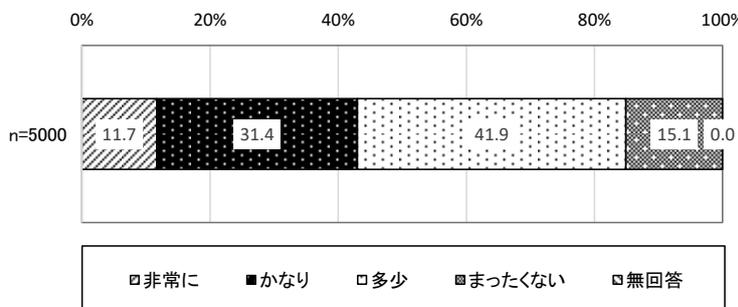
※全体の調査数には年齢階級が無回答のものを含むため、全体の調査数は各年齢階級の調査数の合計と一致しない。

4) 回答者の職場環境

(1) 仕事関係者にどのくらい気楽に話ができるか(Q13-1)

仕事関係者にどのくらい気楽に話ができるかは、「多少」の割合が41.9%で最も高く、次いで「かなり」が31.4%であった。

図表2-4-49 仕事関係者にどのくらい気楽に話ができるか



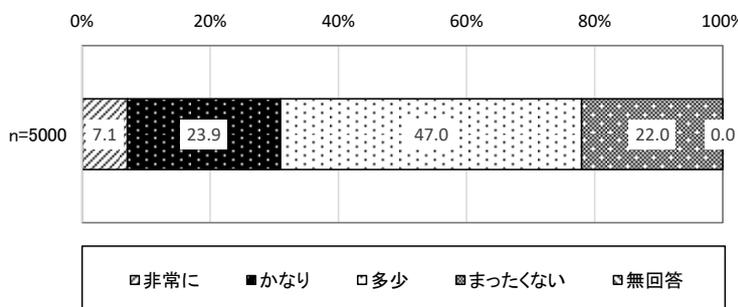
図表2-4-50 仕事関係者にどのくらい気楽に話ができるか【業種別】

	調査数	上段：件数 (件)					無回答
		非常に	かなり	多少	まったくない		
		下段：割合 (%)					
全体	5000	583	1568	2094	755	0	
	100.0	11.7	31.4	41.9	15.1	0.0	
農林漁業	959	110	327	412	110	0	
	100.0	11.5	34.1	43.0	11.5	0.0	
建設業	759	103	314	287	55	0	
	100.0	13.6	41.4	37.8	7.2	0.0	
製造業	350	46	95	164	45	0	
	100.0	13.1	27.1	46.9	12.9	0.0	
情報通信業	94	9	27	38	20	0	
	100.0	9.6	28.7	40.4	21.3	0.0	
運輸業、郵便業	104	9	33	55	7	0	
	100.0	8.7	31.7	52.9	6.7	0.0	
卸売業、小売業	531	72	157	200	102	0	
	100.0	13.6	29.6	37.7	19.2	0.0	
金融業、保険業	18	2	5	6	5	0	
	100.0	11.1	27.8	33.3	27.8	0.0	
不動産業、物品賃貸業	104	16	31	41	16	0	
	100.0	15.4	29.8	39.4	15.4	0.0	
学術研究、専門・技術サービス業	454	46	146	202	60	0	
	100.0	10.1	32.2	44.5	13.2	0.0	
宿泊業、飲食サービス業	359	51	106	141	61	0	
	100.0	14.2	29.5	39.3	17.0	0.0	
生活関連サービス業、娯楽業	407	33	100	194	80	0	
	100.0	8.1	24.6	47.7	19.7	0.0	
教育、学習支援業	227	24	46	92	65	0	
	100.0	10.6	20.3	40.5	28.6	0.0	
医療、福祉	208	19	61	89	39	0	
	100.0	9.1	29.3	42.8	18.8	0.0	
その他サービス業	426	43	120	173	90	0	
	100.0	10.1	28.2	40.6	21.1	0.0	

(2) 自身が困った時に仕事関係者がどれくらい頼りになるか(Q13-2)

自身が困った時に仕事関係者がどれくらい頼りになるかは、「多少」の割合が 47.0%で最も高く、次いで「かなり」が 23.9%であった。

図表2-4-51 自身が困った時に仕事関係者がどれくらい頼りになるか



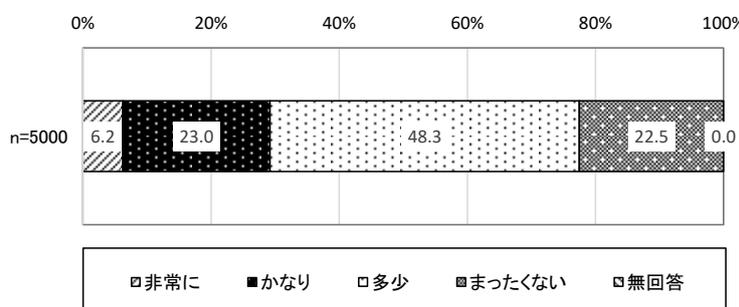
図表2-4-52 自身が困った時に仕事関係者がどれくらい頼りになるか【業種別】

	調査数	上段：件数 (件)					無回答
		非常に	かなり	多少	まったくない		
		下段：割合 (%)					
全体	5000	353	1197	2349	1101	0	
	100.0	7.1	23.9	47.0	22.0	0.0	
農林漁業	959	77	273	459	150	0	
	100.0	8.0	28.5	47.9	15.6	0.0	
建設業	759	69	266	334	90	0	
	100.0	9.1	35.0	44.0	11.9	0.0	
製造業	350	16	71	182	81	0	
	100.0	4.6	20.3	52.0	23.1	0.0	
情報通信業	94	4	18	43	29	0	
	100.0	4.3	19.1	45.7	30.9	0.0	
運輸業、郵便業	104	7	24	53	20	0	
	100.0	6.7	23.1	51.0	19.2	0.0	
卸売業、小売業	531	39	111	233	148	0	
	100.0	7.3	20.9	43.9	27.9	0.0	
金融業、保険業	18	1	3	9	5	0	
	100.0	5.6	16.7	50.0	27.8	0.0	
不動産業、物品賃貸業	104	10	21	53	20	0	
	100.0	9.6	20.2	51.0	19.2	0.0	
学術研究、専門・技術サービス業	454	27	110	231	86	0	
	100.0	5.9	24.2	50.9	18.9	0.0	
宿泊業、飲食サービス業	359	24	72	160	103	0	
	100.0	6.7	20.1	44.6	28.7	0.0	
生活関連サービス業、娯楽業	407	20	67	201	119	0	
	100.0	4.9	16.5	49.4	29.2	0.0	
教育、学習支援業	227	19	31	102	75	0	
	100.0	8.4	13.7	44.9	33.0	0.0	
医療、福祉	208	11	40	107	50	0	
	100.0	5.3	19.2	51.4	24.0	0.0	
その他サービス業	426	29	90	182	125	0	
	100.0	6.8	21.1	42.7	29.3	0.0	

(3) 個人的な問題を相談したとき、仕事関係者がどのくらい聞いてくれるか(Q13-3)

個人的な問題を相談したとき、仕事関係者がどのくらい聞いてくれるかは、「多少」の割合が48.3%で最も高く、次いで「かなり」が23.0%であった。

図表2-4-53 個人的な問題を相談したとき、仕事関係者がどのくらい聞いてくれるか



図表2-4-54 個人的な問題を相談したとき、仕事関係者がどのくらい聞いてくれるか【業種別】

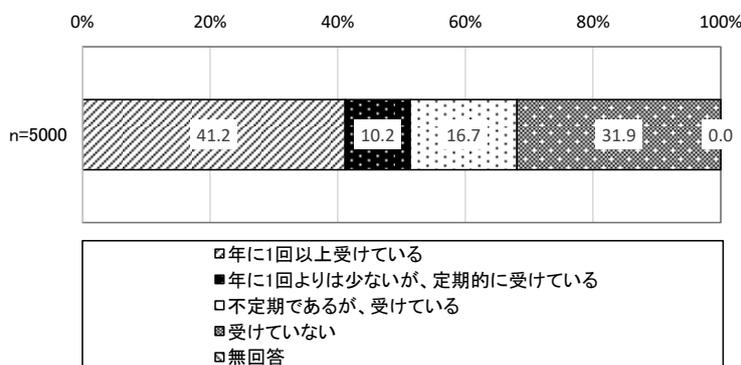
	調査数	上段：件数 (件)					無回答
		非常に	かなり	多少	まったくない		
		下段：割合 (%)					
全体	5000	311	1150	2413	1126	0	
	100.0	6.2	23.0	48.3	22.5	0.0	
農林漁業	959	74	251	461	173	0	
	100.0	7.7	26.2	48.1	18.0	0.0	
建設業	759	48	227	376	108	0	
	100.0	6.3	29.9	49.5	14.2	0.0	
製造業	350	17	76	179	78	0	
	100.0	4.9	21.7	51.1	22.3	0.0	
情報通信業	94	3	14	44	33	0	
	100.0	3.2	14.9	46.8	35.1	0.0	
運輸業、郵便業	104	7	24	56	17	0	
	100.0	6.7	23.1	53.8	16.3	0.0	
卸売業、小売業	531	41	102	241	147	0	
	100.0	7.7	19.2	45.4	27.7	0.0	
金融業、保険業	18	1	5	7	5	0	
	100.0	5.6	27.8	38.9	27.8	0.0	
不動産業、物品賃貸業	104	7	21	50	26	0	
	100.0	6.7	20.2	48.1	25.0	0.0	
学術研究、専門・技術サービス業	454	25	102	240	87	0	
	100.0	5.5	22.5	52.9	19.2	0.0	
宿泊業、飲食サービス業	359	22	73	164	100	0	
	100.0	6.1	20.3	45.7	27.9	0.0	
生活関連サービス業、娯楽業	407	16	77	200	114	0	
	100.0	3.9	18.9	49.1	28.0	0.0	
教育、学習支援業	227	18	39	97	73	0	
	100.0	7.9	17.2	42.7	32.2	0.0	
医療、福祉	208	12	44	102	50	0	
	100.0	5.8	21.2	49.0	24.0	0.0	
その他サービス業	426	20	95	196	115	0	
	100.0	4.7	22.3	46.0	27.0	0.0	

5) 回答者の生活や心身の健康等

(1) 健康診断(人間ドックを含む)の受診状況(Q14)

健康診断(人間ドックを含む)の受診状況は、「年1回以上受けている」の割合が41.2%で最も高く、次いで「受けていない」が31.9%であった。

図表2-4-55 健康診断(人間ドックを含む)の受診状況



図表2-4-56 健康診断(人間ドックを含む)の受診状況【業種別】

	調査数	業種別				
		年に1回以上受けている	年に1回よりは少ないが、定期的に受けている	不定期であるが、受けている	受けていない	無回答
全体	5000	2059	509	836	1596	0
	100.0	41.2	10.2	16.7	31.9	0.0
農林漁業	959	425	107	163	264	0
	100.0	44.3	11.2	17.0	27.5	0.0
建設業	759	379	80	109	191	0
	100.0	49.9	10.5	14.4	25.2	0.0
製造業	350	130	37	62	121	0
	100.0	37.1	10.6	17.7	34.6	0.0
情報通信業	94	32	9	20	33	0
	100.0	34.0	9.6	21.3	35.1	0.0
運輸業、郵便業	104	41	7	16	40	0
	100.0	39.4	6.7	15.4	38.5	0.0
卸売業、小売業	531	178	56	88	209	0
	100.0	33.5	10.5	16.6	39.4	0.0
金融業、保険業	18	6	2	3	7	0
	100.0	33.3	11.1	16.7	38.9	0.0
不動産業、物品賃貸業	104	51	3	19	31	0
	100.0	49.0	2.9	18.3	29.8	0.0
学術研究・専門・技術サービス業	454	213	50	81	110	0
	100.0	46.9	11.0	17.8	24.2	0.0
宿泊業、飲食サービス業	359	128	34	63	134	0
	100.0	35.7	9.5	17.5	37.3	0.0
生活関連サービス業、娯楽業	407	158	30	74	145	0
	100.0	38.8	7.4	18.2	35.6	0.0
教育、学習支援業	227	88	23	37	79	0
	100.0	38.8	10.1	16.3	34.8	0.0
医療、福祉	208	85	24	30	69	0
	100.0	40.9	11.5	14.4	33.2	0.0
その他サービス業	426	145	47	71	163	0
	100.0	34.0	11.0	16.7	38.3	0.0

図表2-4-57 健康診断（人間ドックを含む）の受診状況【年齢階級別】

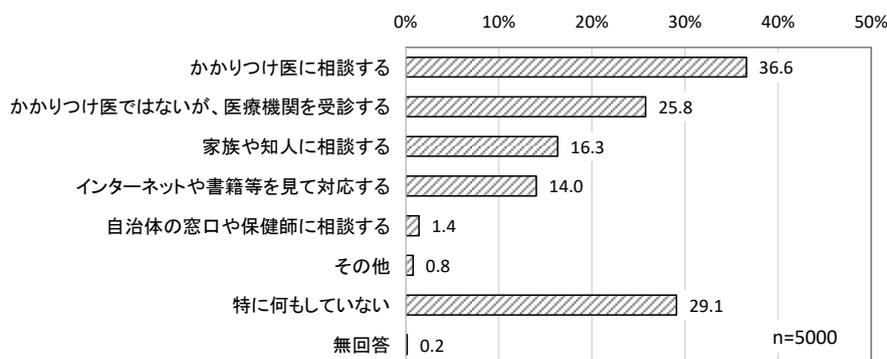
	調査数	上段：件数（件）					無回答
		い年に1回以上受けて	てい年、1定期よりは少な	けて不定期であるが、受	受けていない		
全体	5000 100.0	2059 41.2	509 10.2	836 16.7	1596 31.9	0 0.0	
20歳代以下	27 100.0	5 18.5	5 18.5	4 14.8	13 48.1	0 0.0	
30歳代	372 100.0	68 18.3	40 10.8	58 15.6	206 55.4	0 0.0	
40歳代	1218 100.0	413 33.9	137 11.2	211 17.3	457 37.5	0 0.0	
50歳代	1832 100.0	730 39.8	186 10.2	310 16.9	606 33.1	0 0.0	
60歳代以上	1549 100.0	842 54.4	141 9.1	252 16.3	314 20.3	0 0.0	

※全体の調査数には年齢階級が無回答のものを含むため、全体の調査数は各年齢階級の調査数の合計と一致しない。

（2）長時間労働や心身の不調があった場合の対処方法(Q15)

長時間労働や心身の不調があった場合の対処方法は、「かかりつけ医に相談する」の割合が36.6%で最も高く、次いで「かかりつけ医ではないが、医療機関を受診する」が25.8%であった。

図表2-4-58 長時間労働や心身の不調があった場合の対処方法（複数回答）



図表2-4-59 長時間労働や心身の不調があった場合の対処方法（複数回答）【業種別】

	調査数	談か する かり つけ 医に 相	をな 受い 診が する 、 医 療 機 関は	健自 師治 に体 相の 談窓 す口 るや 保	す家 る族 や 知 人に 相 談	す書 る籍 等 を 見 て 対 応 や	そ の 他	い特 に 何 も し て い な	無 回 答
全体	5000 100.0	1830 36.6	1289 25.8	72 1.4	817 16.3	702 14.0	40 0.8	1455 29.1	9 0.2
農林漁業	959 100.0	378 39.4	282 29.4	19 2.0	183 19.1	139 14.5	9 0.9	208 21.7	5 0.5
建設業	759 100.0	267 35.2	186 24.5	8 1.1	124 16.3	88 11.6	4 0.5	242 31.9	0 0.0
製造業	350 100.0	136 38.9	85 24.3	6 1.7	56 16.0	52 14.9	2 0.6	105 30.0	0 0.0
情報通信業	94 100.0	30 31.9	25 26.6	3 3.2	12 12.8	23 24.5	0 0.0	33 35.1	1 1.1
運輸業、郵便業	104 100.0	29 27.9	29 27.9	1 1.0	16 15.4	14 13.5	1 1.0	37 35.6	0 0.0
卸売業、小売業	531 100.0	187 35.2	114 21.5	8 1.5	80 15.1	68 12.8	4 0.8	174 32.8	2 0.4
金融業、保険業	18 100.0	7 38.9	4 22.2	0 0.0	5 27.8	2 11.1	0 0.0	5 27.8	0 0.0
不動産業、物品賃貸業	104 100.0	50 48.1	21 20.2	3 2.9	11 10.6	18 17.3	0 0.0	30 28.8	0 0.0
学術研究、専門・技術サービス業	454 100.0	180 39.6	130 28.6	3 0.7	72 15.9	61 13.4	8 1.8	111 24.4	0 0.0
宿泊業、飲食サービス業	359 100.0	131 36.5	91 25.3	5 1.4	65 18.1	48 13.4	2 0.6	119 33.1	0 0.0
生活関連サービス業、娯楽業	407 100.0	127 31.2	108 26.5	5 1.2	76 18.7	66 16.2	2 0.5	128 31.4	1 0.2
教育、学習支援業	227 100.0	97 42.7	56 24.7	3 1.3	39 17.2	42 18.5	2 0.9	52 22.9	0 0.0
医療、福祉	208 100.0	71 34.1	58 27.9	1 0.5	34 16.3	24 11.5	3 1.4	62 29.8	0 0.0
その他サービス業	426 100.0	140 32.9	100 23.5	7 1.6	44 10.3	57 13.4	3 0.7	149 35.0	0 0.0

図表2-4-60 長時間労働や心身の不調があった場合の対処方法（複数回答）【年齢階級別】

	調査数	談か する かり つけ 医に 相	をな 受い 診が する 、 医 療 機 関は	健自 師治 に体 相の 談窓 す口 るや 保	す家 る族 や 知 人に 相 談	す書 る籍 等 を 見 て 対 応 や	そ の 他	い特 に 何 も し て い な	無 回 答
全体	5000 100.0	1830 36.6	1289 25.8	72 1.4	817 16.3	702 14.0	40 0.8	1455 29.1	9 0.2
20歳代以下	27 100.0	8 29.6	9 33.3	3 11.1	12 44.4	7 25.9	0 0.0	7 25.9	0 0.0
30歳代	372 100.0	88 23.7	124 33.3	10 2.7	91 24.5	69 18.5	1 0.3	112 30.1	2 0.5
40歳代	1218 100.0	346 28.4	352 28.9	15 1.2	209 17.2	201 16.5	13 1.1	381 31.3	1 0.1
50歳代	1832 100.0	619 33.8	444 24.2	24 1.3	277 15.1	279 15.2	10 0.5	601 32.8	3 0.2
60歳代以上	1549 100.0	767 49.5	359 23.2	20 1.3	227 14.7	145 9.4	16 1.0	354 22.9	3 0.2

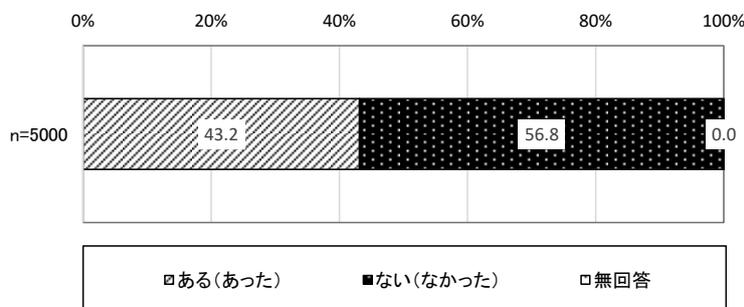
※全体の調査数には年齢階級が無回答のものを含むため、全体の調査数は各年齢階級の調査数の合計と一致しない。

(3) 業務に関連したストレスや悩み (2019年4月から9月までの間)

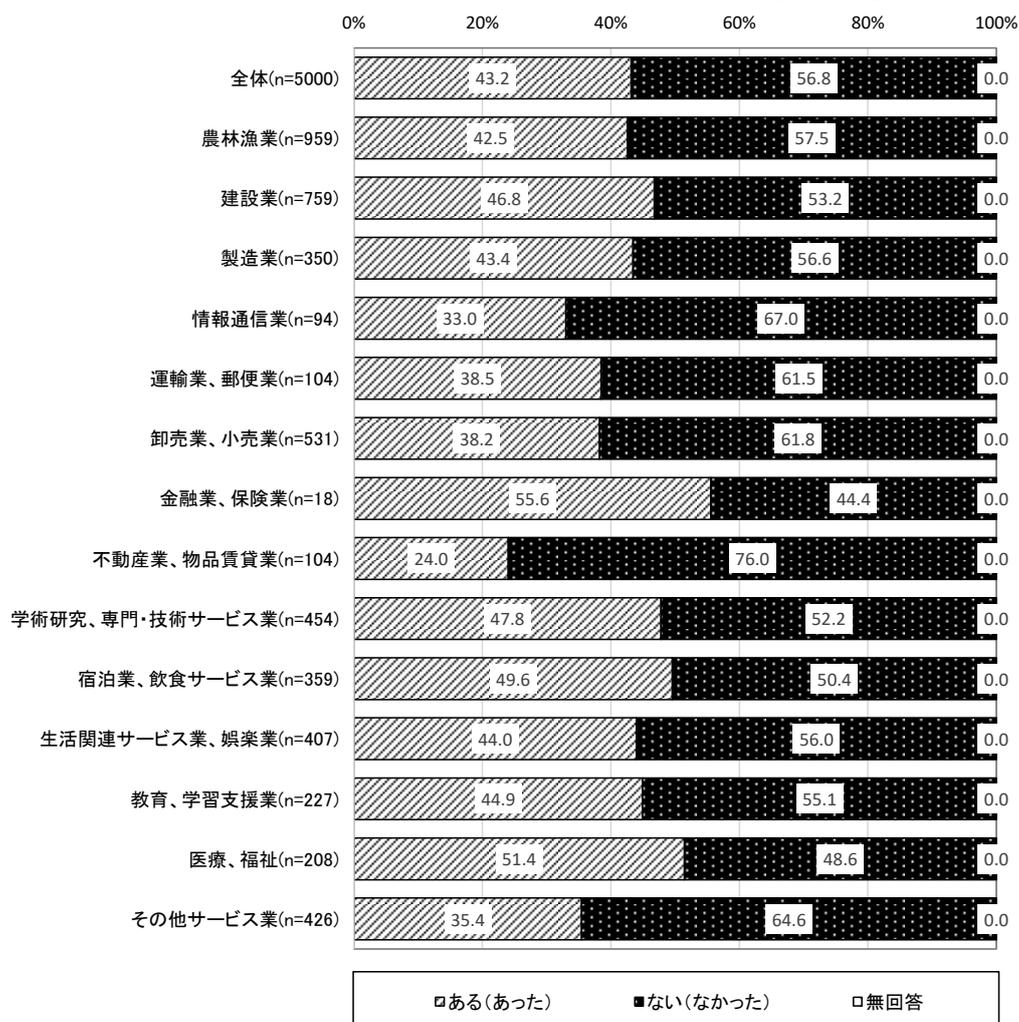
① 業務に関連したストレスや悩みの有無(Q16-1)

業務に関連したストレスや悩みの有無は、「ある(あった)」の割合が43.2%、「ない(なかった)」が56.8%であった。

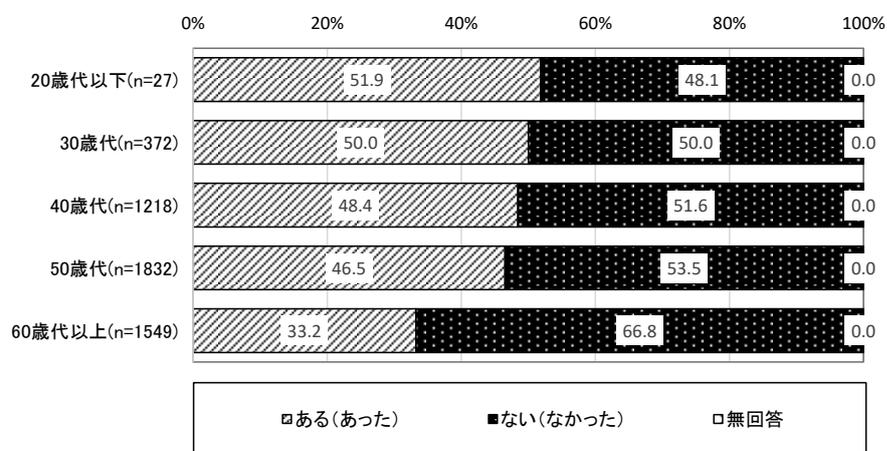
図表2-4-61 業務に関連したストレスや悩みの有無



図表2-4-62 業務に関連したストレスや悩みの有無【業種別】



図表2-4-63 業務に関連したストレスや悩みの有無【年齢階級別】

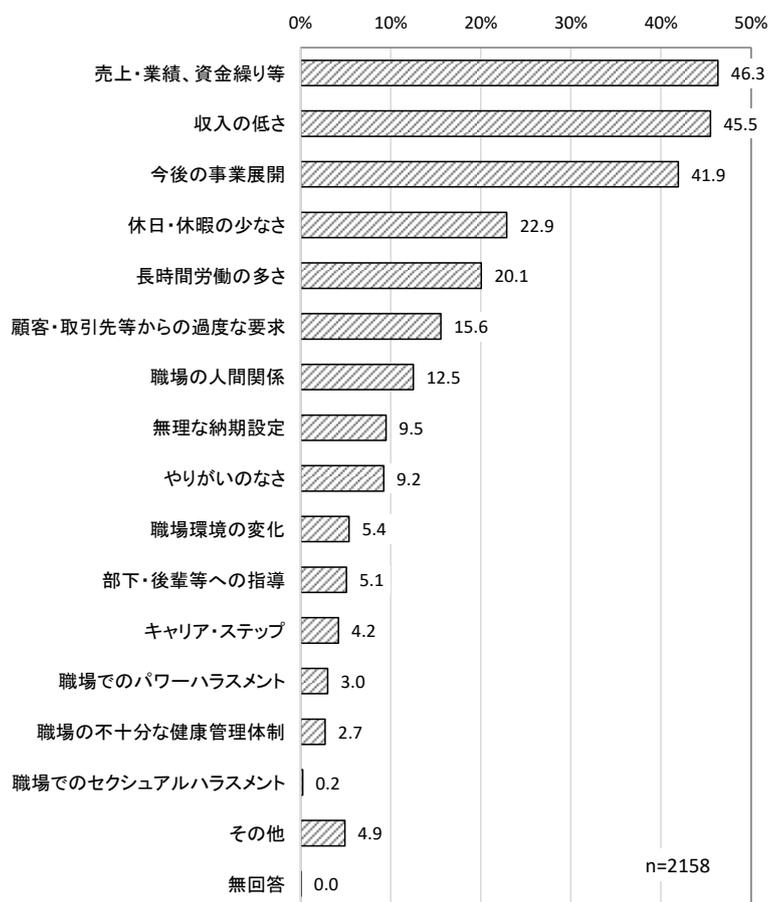


※全体の調査数には年齢階級が無回答のものを含むため、全体の調査数は各年齢階級の調査数の合計と一致しない

②業務に関連したストレスや悩みの原因(Q16-2)

業務に関連したストレスや悩みが「ある（あった）」と回答した者におけるストレスや悩みの原因は、「売上・業績、資金繰り等」の割合が46.3%で最も高く、次いで「収入の低さ」が45.5%、「今後の事業展開」が41.9%であった。

図表2-4-64 業務に関連したストレスや悩みの原因（複数回答）



図表2-4-65 業務に関連したストレスや悩みの原因（複数回答）【業種別】

上段：件数（件）
下段：割合（％）

	調査数	長時間労働の多さ	休日・休暇の少なさ	今後の事業展開	売上・業績、資金繰り等	職場環境の変化	職場の人間関係	職場でのパワーハラスメント	職場でのセクシュアルハラスメント	職場の不十分な健康管理体制	部下・後輩等への指導	収入の低さ	顧客・取引先等からの過度な要求	無理な納期設定	やりがいのなさ	キャリア・ステツ	その他	無回答
全体	2158 100.0	433 20.1	494 22.9	905 41.9	1000 46.3	116 5.4	270 12.5	65 3.0	5 0.2	59 2.7	110 5.1	982 45.5	336 15.6	205 9.5	199 9.2	91 4.2	106 4.9	1 0.0
農林漁業	408 100.0	114 27.9	126 30.9	184 45.1	148 36.3	19 4.7	46 11.3	17 4.2	1 0.2	12 2.9	11 2.7	180 44.1	13 3.2	10 2.5	42 10.3	15 3.7	39 9.6	0 0.0
建設業	355 100.0	54 15.2	64 18.0	145 40.8	140 39.4	28 7.9	67 18.9	19 5.4	1 0.3	13 3.7	18 5.1	156 43.9	69 19.4	77 21.7	32 9.0	9 2.5	12 3.4	0 0.0
製造業	152 100.0	28 18.4	34 22.4	71 46.7	81 53.3	8 5.3	11 7.2	2 1.3	0 0.0	5 3.3	5 3.3	71 46.7	40 26.3	33 21.7	19 12.5	6 3.9	9 5.9	0 0.0
情報通信業	31 100.0	5 16.1	6 19.4	9 29.0	15 48.4	0 0.0	4 12.9	2 6.5	0 0.0	0 0.0	4 12.9	14 45.2	9 29.0	6 19.4	4 12.9	2 6.5	0 0.0	0 0.0
運輸業、郵便業	40 100.0	9 22.5	9 22.5	14 35.0	21 52.5	4 10.0	4 10.0	2 5.0	0 0.0	3 7.5	1 2.5	20 50.0	4 10.0	5 12.5	4 10.0	0 0.0	2 5.0	0 0.0
卸売業、小売業	203 100.0	38 18.7	45 22.2	95 46.8	130 64.0	11 5.4	17 8.4	0 0.0	0 0.0	3 1.5	8 3.9	113 55.7	23 11.3	10 4.9	16 7.9	3 1.5	3 1.5	0 0.0
金融業、保険業	10 100.0	1 10.0	1 10.0	8 80.0	8 80.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 60.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0
不動産業、物品賃貸業	25 100.0	0 0.0	0 0.0	15 60.0	8 32.0	1 4.0	1 4.0	1 4.0	0 0.0	2 8.0	0 0.0	8 32.0	3 12.0	0 0.0	2 8.0	1 4.0	0 0.0	0 0.0
学術研究、専門・技術サービス業	217 100.0	50 23.0	46 21.2	84 38.7	82 37.8	6 2.8	23 10.6	7 3.2	1 0.5	6 2.8	16 7.4	74 34.1	64 29.5	38 17.5	19 8.8	18 8.3	14 6.5	1 0.5
宿泊業、飲食サービス業	178 100.0	50 28.1	55 30.9	80 44.9	106 59.6	11 6.2	28 15.7	5 2.8	0 0.0	4 2.2	17 9.6	94 52.8	18 10.1	2 1.1	12 6.7	6 3.4	7 3.9	0 0.0
生活関連サービス業、娯楽業	179 100.0	30 16.8	49 27.4	68 38.0	101 56.4	10 5.6	24 13.4	2 1.1	0 0.0	1 0.6	7 3.9	88 49.2	29 16.2	7 3.9	13 7.3	5 2.8	7 3.9	0 0.0
教育、学習支援業	102 100.0	16 15.7	17 16.7	40 39.2	29 28.4	5 4.9	12 11.8	1 1.0	0 0.0	3 2.9	4 3.9	51 50.0	19 18.6	3 2.9	15 14.7	6 5.9	1 1.0	0 0.0
医療、福祉	107 100.0	14 13.1	18 16.8	35 32.7	59 55.1	4 3.7	14 13.1	2 1.9	0 0.0	2 1.9	12 11.2	50 46.7	11 10.3	2 1.9	12 11.2	10 9.3	2 1.9	0 0.0
その他サービス業	151 100.0	24 15.9	24 15.9	57 37.7	72 47.7	8 5.3	19 12.6	5 3.3	2 1.3	5 3.3	7 4.6	57 37.7	34 22.5	12 7.9	9 6.0	9 6.0	10 6.6	0 0.0

図表2-4-66 業務に関連したストレスや悩みの原因（複数回答）【年齢階級別】

	調査数	長時間労働の多さ	休日・休暇の少な	今後の事業展開	売上・業績、資金	職場環境の変化	職場の人間関係	職場でのパワーハラスメント	職場でのセクシュアリティ	職場の管理体制不十分な健康	部下・後輩等への指導	収入の低さ	顧客・取引先等からの過度な要求等	無理な納期設定	やりがいのなさ	キャリア・ステツ	その他	無回答	上段：件数（件）		下段：割合（％）	
全体	2158	433	494	905	1000	116	270	65	5	59	110	982	336	205	199	91	106	1				
	100.0	20.1	22.9	41.9	46.3	5.4	12.5	3.0	0.2	2.7	5.1	45.5	15.6	9.5	9.2	4.2	4.9	0.0				
20歳代以下	14	4	3	2	7	3	2	2	3	0	2	8	1	1	1	1	0	0				
	100.0	28.6	21.4	14.3	50.0	21.4	14.3	14.3	21.4	0.0	14.3	57.1	7.1	7.1	7.1	7.1	0.0	0.0				
30歳代	186	52	56	81	95	11	36	7	1	7	7	78	30	13	12	12	5	0				
	100.0	28.0	30.1	43.5	51.1	5.9	19.4	3.8	0.5	3.8	3.8	41.9	16.1	7.0	6.5	6.5	2.7	0.0				
40歳代	590	144	161	252	282	41	96	20	1	13	38	279	82	60	54	38	17	0				
	100.0	24.4	27.3	42.7	47.8	6.9	16.3	3.4	0.2	2.2	6.4	47.3	13.9	10.2	9.2	6.4	2.9	0.0				
50歳代	852	165	187	330	418	42	101	31	0	21	41	386	147	82	91	21	35	0				
	100.0	19.4	21.9	38.7	49.1	4.9	11.9	3.6	0.0	2.5	4.8	45.3	17.3	9.6	10.7	2.5	4.1	0.0				
60歳代以上	515	68	87	239	198	19	35	5	0	18	22	230	76	49	41	19	48	1				
	100.0	13.2	16.9	46.4	38.4	3.7	6.8	1.0	0.0	3.5	4.3	44.7	14.8	9.5	8.0	3.7	9.3	0.2				

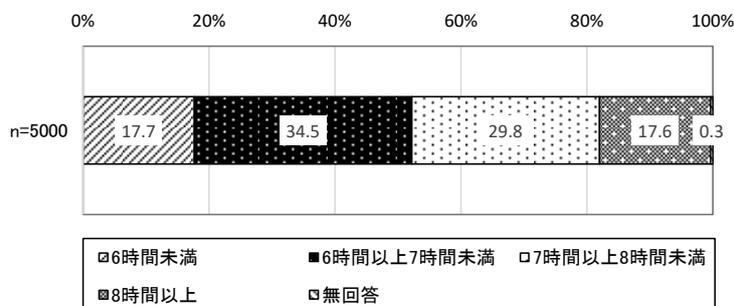
※全体の調査数には年齢階級が無回答のものを含むため、全体の調査数は各年齢階級の調査数の合計と一致しない。

(4) 平日における平均的な睡眠時間と充足状況

①平日における平均的な睡眠時間(Q17-1)

平日における平均的な睡眠時間は、「6時間以上7時間未満」の割合が34.5%で最も高く、次いで「7時間以上8時間未満」が29.8%であり、平均6.5時間であった。

図表2-4-67 平日における平均的な睡眠時間



※平均 6.5 時間

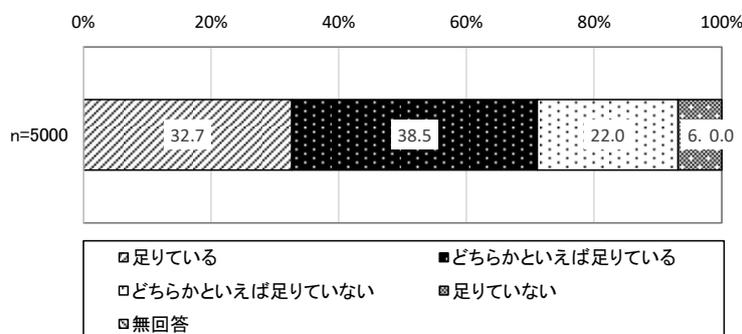
図表2-4-68 平日における平均的な睡眠時間【業種別】

	調査数	上段：件数 (件)					無回答	平均 (単位：時間)
		6時間未満	7時間以上6時間未満	8時間以上7時間未満	8時間以上	割合 (%)		
全体	5000	885	1726	1491	882	16	6.5	
	100.0	17.7	34.5	29.8	17.6	0.3		
農林漁業	959	146	331	295	183	4	6.6	
	100.0	15.2	34.5	30.8	19.1	0.4		
建設業	759	145	261	208	144	1	6.5	
	100.0	19.1	34.4	27.4	19.0	0.1		
製造業	350	60	134	88	68	0	6.5	
	100.0	17.1	38.3	25.1	19.4	0.0		
情報通信業	94	13	37	33	11	0	6.5	
	100.0	13.8	39.4	35.1	11.7	0.0		
運輸業、郵便業	104	23	40	25	15	1	6.3	
	100.0	22.1	38.5	24.0	14.4	1.0		
卸売業、小売業	531	93	151	180	106	1	6.6	
	100.0	17.5	28.4	33.9	20.0	0.2		
金融業、保険業	18	6	5	5	2	0	6.1	
	100.0	33.3	27.8	27.8	11.1	0.0		
不動産業、物品賃貸業	104	14	42	28	20	0	6.4	
	100.0	13.5	40.4	26.9	19.2	0.0		
学術研究、専門・技術サービス業	454	78	176	131	68	1	6.5	
	100.0	17.2	38.8	28.9	15.0	0.2		
宿泊業、飲食サービス業	359	90	123	95	48	3	6.3	
	100.0	25.1	34.3	26.5	13.4	0.8		
生活関連サービス業、娯楽業	407	63	142	146	53	3	6.5	
	100.0	15.5	34.9	35.9	13.0	0.7		
教育、学習支援業	227	38	77	69	43	0	6.6	
	100.0	16.7	33.9	30.4	18.9	0.0		
医療、福祉	208	39	65	64	39	1	6.5	
	100.0	18.8	31.3	30.8	18.8	0.5		
その他サービス業	426	77	142	124	82	1	6.5	
	100.0	18.1	33.3	29.1	19.2	0.2		

②平日における睡眠時間の充足状況(Q17-2)

平日における睡眠時間の充足状況は、「どちらかといえば足りている」の割合が 38.5%で最も高く、次いで「足りている」が 32.7%であった。

図表2-4-69 平日における睡眠時間の充足状況



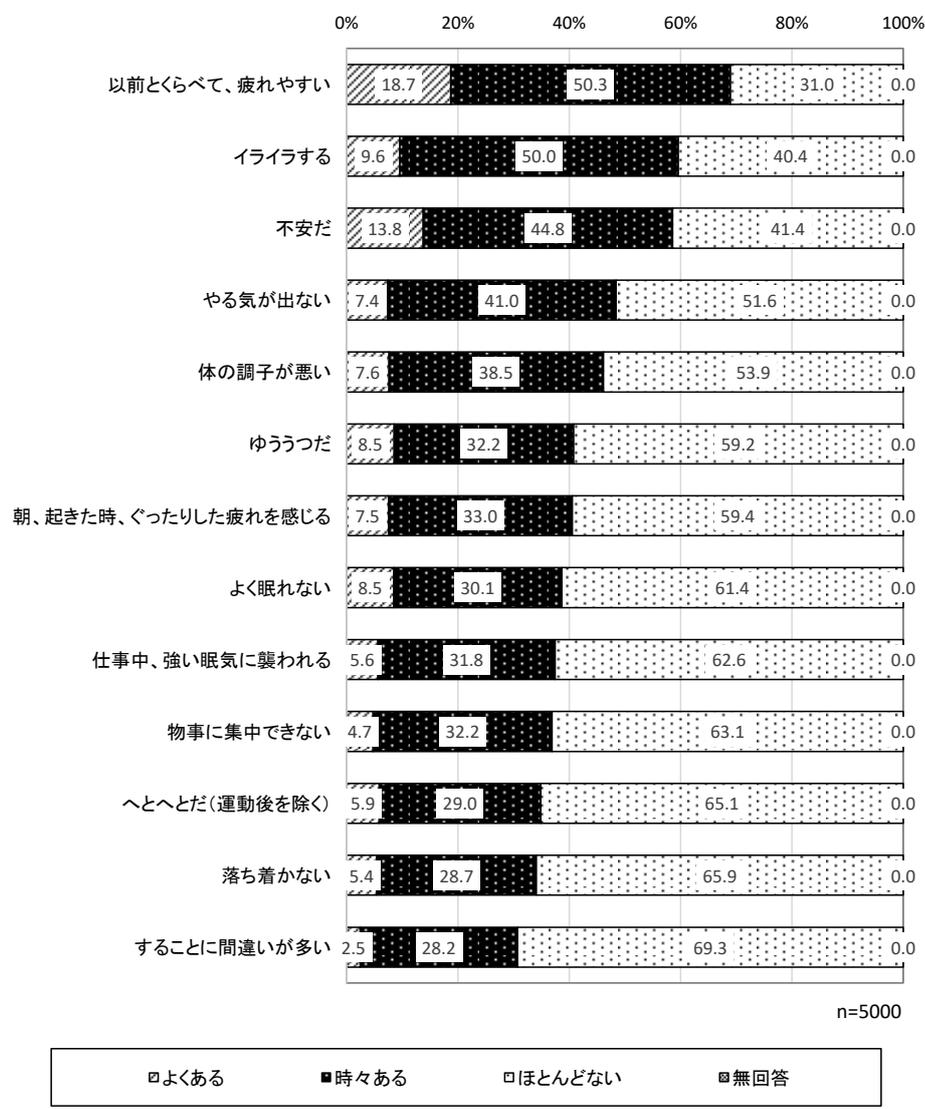
図表2-4-70 平日における睡眠時間の充足状況【業種別】

	調査数	上段：件数 (件)				無回答
		足りている	どちらかといえば足りている	どちらかといえば足りていない	足りていない	
全体	5000	1633	1923	1102	342	0
	100.0	32.7	38.5	22.0	6.8	0.0
農林漁業	959	314	371	218	56	0
	100.0	32.7	38.7	22.7	5.8	0.0
建設業	759	225	321	169	44	0
	100.0	29.6	42.3	22.3	5.8	0.0
製造業	350	112	125	90	23	0
	100.0	32.0	35.7	25.7	6.6	0.0
情報通信業	94	27	33	26	8	0
	100.0	28.7	35.1	27.7	8.5	0.0
運輸業、郵便業	104	29	38	28	9	0
	100.0	27.9	36.5	26.9	8.7	0.0
卸売業、小売業	531	176	207	109	39	0
	100.0	33.1	39.0	20.5	7.3	0.0
金融業、保険業	18	3	8	5	2	0
	100.0	16.7	44.4	27.8	11.1	0.0
不動産業、物品賃貸業	104	41	43	14	6	0
	100.0	39.4	41.3	13.5	5.8	0.0
学術研究、専門・技術サービス業	454	146	184	93	31	0
	100.0	32.2	40.5	20.5	6.8	0.0
宿泊業、飲食サービス業	359	98	138	88	35	0
	100.0	27.3	38.4	24.5	9.7	0.0
生活関連サービス業、娯楽業	407	143	148	82	34	0
	100.0	35.1	36.4	20.1	8.4	0.0
教育、学習支援業	227	79	88	44	16	0
	100.0	34.8	38.8	19.4	7.0	0.0
医療、福祉	208	81	72	42	13	0
	100.0	38.9	34.6	20.2	6.3	0.0
その他サービス業	426	159	147	94	26	0
	100.0	37.3	34.5	22.1	6.1	0.0

(5) 直近1か月(2019年9月)の自覚症状(Q18)

直近1か月の自覚症状のうち、「よくある」または「時々ある」の割合の合計は、「以前と比べて、疲れやすい」が最も高く、次いで「イライラする」、「不安だ」であった。

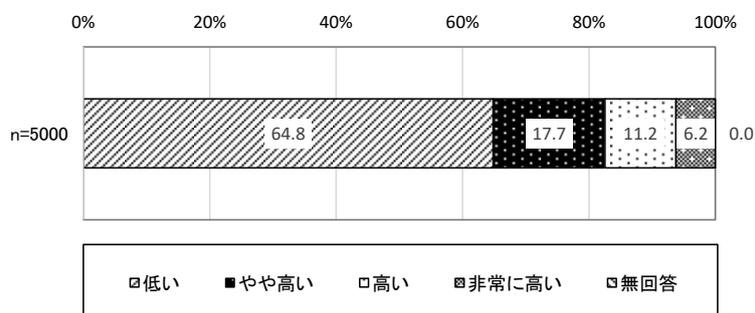
図表2-4-71 直近1か月の自覚症状



(6) 疲労蓄積度（仕事による負担度）

疲労蓄積度は、「低い」が64.8%で最も高く、次いで「やや高い」が17.7%であった。

図表2-4-72 疲労蓄積度



※疲労蓄積度（仕事による負担度）は「直近1か月（2019年9月）の自覚症状」、「直近1か月（2019年9月）の状況」を基に算出。具体的な算出方法は厚生労働省「労働者の疲労蓄積度自己診断チェックリスト（参考URL：<http://www.mhlw.go.jp/topics/2004/06/dl/tp0630-1a.pdf>）」による。

図表2-4-73 疲労蓄積度【業種別】

	調査数	上段：件数（件） 下段：割合（%）				
		低い	やや高い	高い	非常に高い	無回答
全体	5000	3242	884	562	312	0
	100.0	64.8	17.7	11.2	6.2	0.0
農林漁業	959	583	193	108	75	0
	100.0	60.8	20.1	11.3	7.8	0.0
建設業	759	476	152	92	39	0
	100.0	62.7	20.0	12.1	5.1	0.0
製造業	350	218	57	49	26	0
	100.0	62.3	16.3	14.0	7.4	0.0
情報通信業	94	64	21	7	2	0
	100.0	68.1	22.3	7.4	2.1	0.0
運輸業、郵便業	104	67	14	13	10	0
	100.0	64.4	13.5	12.5	9.6	0.0
卸売業、小売業	531	365	83	59	24	0
	100.0	68.7	15.6	11.1	4.5	0.0
金融業、保険業	18	10	5	3	0	0
	100.0	55.6	27.8	16.7	0.0	0.0
不動産業、物品賃貸業	104	93	6	5	0	0
	100.0	89.4	5.8	4.8	0.0	0.0
学術研究、専門・技術サービス業	454	282	84	52	36	0
	100.0	62.1	18.5	11.5	7.9	0.0
宿泊業、飲食サービス業	359	194	75	58	32	0
	100.0	54.0	20.9	16.2	8.9	0.0
生活関連サービス業、娯楽業	407	285	60	43	19	0
	100.0	70.0	14.7	10.6	4.7	0.0
教育、学習支援業	227	154	40	21	12	0
	100.0	67.8	17.6	9.3	5.3	0.0
医療、福祉	208	141	39	19	9	0
	100.0	67.8	18.8	9.1	4.3	0.0
その他サービス業	426	310	55	33	28	0
	100.0	72.8	12.9	7.7	6.6	0.0

※疲労蓄積度（仕事による負担度）は「直近1か月（2019年9月）の自覚症状」、「直近1か月（2019年9月）の状況」を基に算出。具体的な算出方法は厚生労働省「労働者の疲労蓄積度自己診断チェックリスト（参考URL：<http://www.mhlw.go.jp/topics/2004/06/dl/tp0630-1a.pdf>）」による。

図表2-4-74 疲労蓄積度【年齢階級別】

	調査数	上段：件数（件）					無回答
		低い	やや高い	高い	非常に高い		
全体	5000	3242	884	562	312	0	
	100.0	64.8	17.7	11.2	6.2	0.0	
20歳代以下	27	9	9	4	5	0	
	100.0	33.3	33.3	14.8	18.5	0.0	
30歳代	372	188	90	61	33	0	
	100.0	50.5	24.2	16.4	8.9	0.0	
40歳代	1218	699	229	188	102	0	
	100.0	57.4	18.8	15.4	8.4	0.0	
50歳代	1832	1175	327	198	132	0	
	100.0	64.1	17.8	10.8	7.2	0.0	
60歳代以上	1549	1170	228	111	40	0	
	100.0	75.5	14.7	7.2	2.6	0.0	

※全体の調査数には年齢階級が無回答のものを含むため、全体の調査数は各年齢階級の調査数の合計と一致しない。

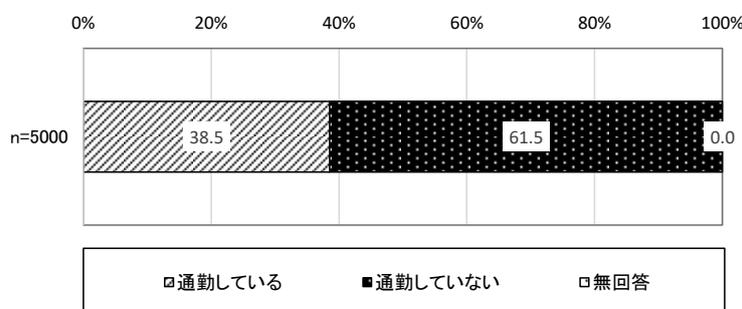
※疲労蓄積度（仕事による負担度）は「直近1か月（2019年9月）の自覚症状」、「直近1か月（2019年9月）の状況」を基に算出。具体的な算出方法は厚生労働省「労働者の疲労蓄積度自己診断チェックリスト（参考 URL：<http://www.mhlw.go.jp/topics/2004/06/dl/tp0630-1a.pdf>）」による。

(7) 往復の通勤時間(Q19)

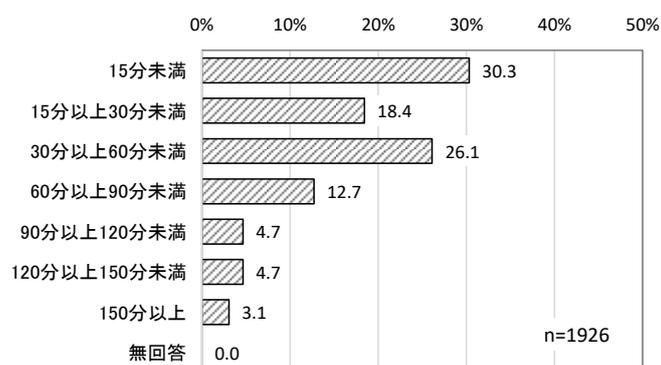
いわゆる通勤の有無は、「通勤している」の割合が 38.5%、「通勤していない」が 61.5%であった。

「通勤している」と回答した者における往復の通勤時間は、「15分未満」の割合が 30.3%で最も高く、次いで「30分以上60分未満」が 26.1%であり、平均 38.3分であった。

図表2-4-75 通勤の有無



図表2-4-76 往復の通勤時間

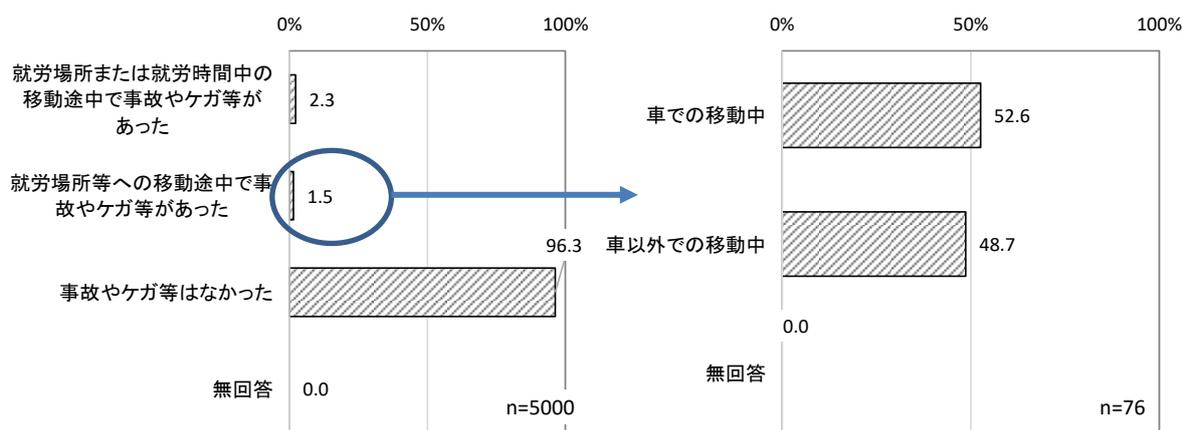


※平均 38.3 分

（８）過重労働に伴う睡眠不足や疲労の蓄積が原因と考えられる事故やケガ等(Q20、20-1)

過重労働に伴う睡眠不足や疲労の蓄積が原因と考えられる事故やケガ等の有無は、「就労場所または就労時間中の移動途中で事故やケガ等があった」が 2.3%、「就労場所等への移動途中で事故やケガ等があった」が 1.5%であった。

図表2-4-77 過重労働に伴う睡眠不足や疲労の蓄積が原因と考えられる事故やケガ等の有無（複数回答）



図表2-4-78 過重労働に伴う睡眠不足や疲労の蓄積が原因と考えられる事故やケガ等の有無【業種別】

	調査数	上段：件数（件）			無回答
		がの就 あ移 つ動 た場 途所 中ま では 事故 や就 ケや ケ時 ガ間 等中	事就 故労 や場 ケ所 ガ等 がへの あ移動 つ途中 で	事 故 や ケ ガ 等 は な か つ た	
		下段：割合（%）			
全体	5000	115	76	4815	0
	100.0	2.3	1.5	96.3	0.0
農林漁業	959	42	19	900	0
	100.0	4.4	2.0	93.8	0.0
建設業	759	20	8	732	0
	100.0	2.6	1.1	96.4	0.0
製造業	350	8	7	336	0
	100.0	2.3	2.0	96.0	0.0
情報通信業	94	2	1	91	0
	100.0	2.1	1.1	96.8	0.0
運輸業、郵便業	104	4	1	99	0
	100.0	3.8	1.0	95.2	0.0
卸売業、小売業	531	9	3	519	0
	100.0	1.7	0.6	97.7	0.0
金融業、保険業	18	0	0	18	0
	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
不動産業、物品賃貸業	104	0	0	104	0
	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
学術研究、専門・技術サービス業	454	7	6	442	0
	100.0	1.5	1.3	97.4	0.0
宿泊業、飲食サービス業	359	6	8	345	0
	100.0	1.7	2.2	96.1	0.0
生活関連サービス業、娯楽業	407	6	6	395	0
	100.0	1.5	1.5	97.1	0.0
教育、学習支援業	227	4	4	219	0
	100.0	1.8	1.8	96.5	0.0
医療、福祉	208	1	5	202	0
	100.0	0.5	2.4	97.1	0.0
その他サービス業	426	6	8	413	0
	100.0	1.4	1.9	96.9	0.0

図表2-4-79 過重労働に伴う睡眠不足や疲労の蓄積が原因と考えられる事故やケガ等の有無【年齢階級別】

	調査数	上段：件数（件） 下段：割合（％）			
		がの就 あ移 就 つ動 場 た途 所 中ま でた は事 故就 や労 ケ時 ガ間 等中	事就 故 場 や 所 ケ 等 ガ へ 等 の が 移 あ 動 つ 途 た 中 で	事 故 や ケ ガ 等 は な か つ た	無 回 答
全体	5000 100.0	115 2.3	76 1.5	4815 96.3	0 0.0
20歳代以下	27 100.0	2 7.4	2 7.4	23 85.2	0 0.0
30歳代	372 100.0	10 2.7	10 2.7	353 94.9	0 0.0
40歳代	1218 100.0	23 1.9	18 1.5	1178 96.7	0 0.0
50歳代	1832 100.0	39 2.1	26 1.4	1770 96.6	0 0.0
60歳代以上	1549 100.0	41 2.6	20 1.3	1489 96.1	0 0.0

※全体の調査数には年齢階級が無回答のものを含むため、全体の調査数は各年齢階級の調査数の合計と一致しない。

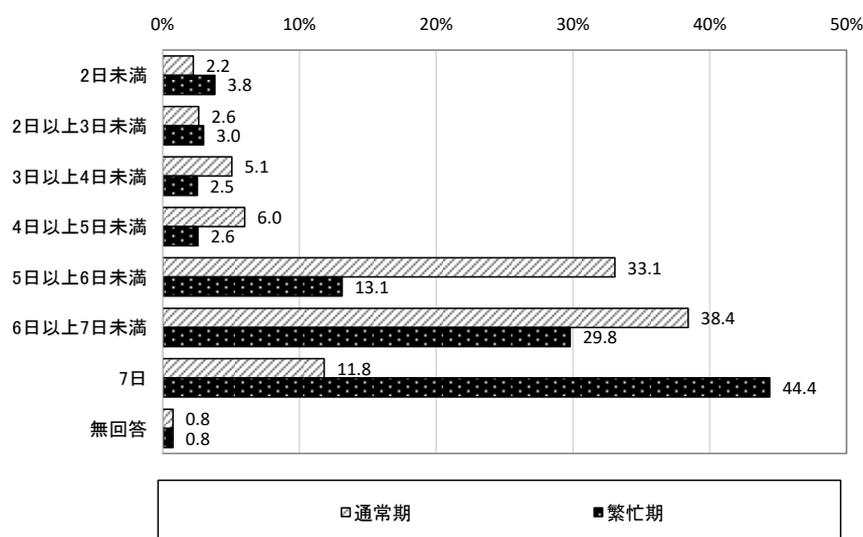
6) 回答者の就労時間等

(1) 1週間の就労日数・就労時間(Q21)

1週間の就労日数についてみると、平均的な時期（通常期）では「6日以上7日未満」の割合が38.4%で最も高く、平均5.3日であった。最も忙しかった時期（繁忙期）では「7日」が44.4%で最も高く、平均5.9日であった。

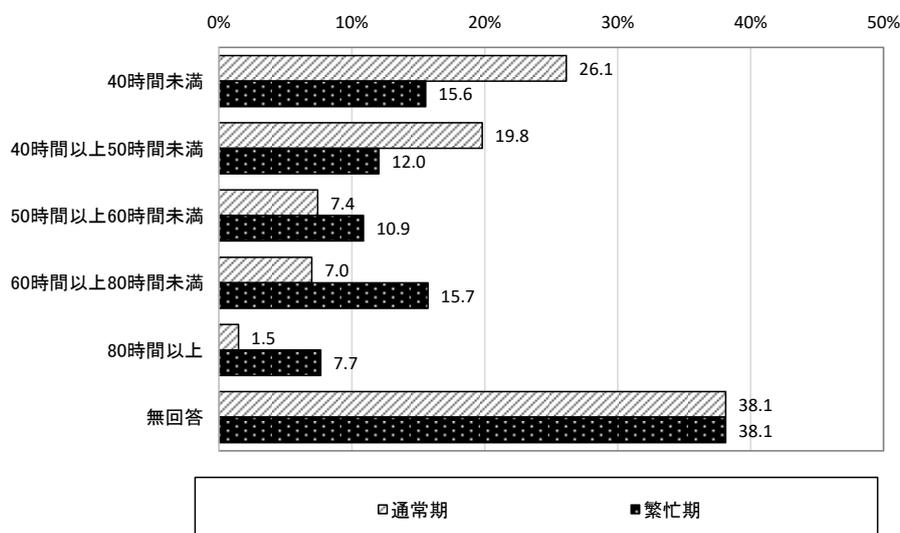
1週間の就労時間についてみると、平均的な時期（通常期）では「40時間未満」の割合が26.1%で最も高く、平均38.9時間であった。最も忙しかった時期（繁忙期）では「60時間以上80時間未満」が15.7%で最も高く、平均51.1時間であった。なお、無回答が38.1%であることに留意する。

図表2-4-80 1週間の就労日数



※通常期：平均5.3日、繁忙期：平均5.9日

図表2-4-81 1週間の就労時間



※通常期：平均38.9時間、繁忙期：平均51.1時間

①平均的な時期（通常期）における1週間の就労時間

・1週間の就労時間

図表2-4-82 平均的な時期（通常期）における1週間の就労時間【業種別】

	調査数	上段：件数（件） 下段：割合（%）						平均 （単位： 時間）
		4 0 時 間 未 満	5 4 0 0 時 間 未 以 上	6 5 0 0 時 間 未 以 上	8 6 0 0 時 間 未 以 上	8 0 時 間 以 上	無 回 答	
全体	5000 100.0	1307 26.1	991 19.8	372 7.4	350 7.0	74 1.5	1906 38.1	38.9
農林漁業	959 100.0	265 27.6	159 16.6	60 6.3	48 5.0	11 1.1	416 43.4	37.1
建設業	759 100.0	154 20.3	225 29.6	60 7.9	38 5.0	5 0.7	277 36.5	40.8
製造業	350 100.0	90 25.7	90 25.7	33 9.4	24 6.9	5 1.4	108 30.9	40.0
情報通信業	94 100.0	21 22.3	23 24.5	8 8.5	5 5.3	1 1.1	36 38.3	40.4
運輸業、郵便業	104 100.0	27 26.0	25 24.0	14 13.5	11 10.6	0 0.0	27 26.0	40.2
卸売業、小売業	531 100.0	119 22.4	88 16.6	44 8.3	50 9.4	13 2.4	217 40.9	41.7
金融業、保険業	18 100.0	5 27.8	5 27.8	1 5.6	0 0.0	0 0.0	7 38.9	34.6
不動産業、物品賃貸業	104 100.0	19 18.3	18 17.3	3 2.9	1 1.0	0 0.0	63 60.6	33.7
学術研究、専門・技術サービス業	454 100.0	126 27.8	96 21.1	40 8.8	29 6.4	7 1.5	156 34.4	38.5
宿泊業、飲食サービス業	359 100.0	112 31.2	45 12.5	24 6.7	53 14.8	14 3.9	111 30.9	41.4
生活関連サービス業、娯楽業	407 100.0	107 26.3	52 12.8	35 8.6	57 14.0	6 1.5	150 36.9	39.5
教育、学習支援業	227 100.0	85 37.4	27 11.9	8 3.5	9 4.0	1 0.4	97 42.7	31.5
医療、福祉	208 100.0	45 21.6	58 27.9	11 5.3	8 3.8	5 2.4	81 38.9	39.8
その他サービス業	426 100.0	132 31.0	80 18.8	31 7.3	17 4.0	6 1.4	160 37.6	35.4

図表2-4-83 平均的な時期（通常期）における1週間の就労時間【消費者向けの店舗の有無別】

	調査数	上段：件数（件） 下段：割合（%）						平均 （単位： 時間）
		4 0 時 間 未 満	5 4 0 0 時 間 未 以 上	6 5 0 0 時 間 未 以 上	8 6 0 0 時 間 未 以 上	8 0 時 間 以 上	無 回 答	
全体	5000 100.0	1307 26.1	991 19.8	372 7.4	350 7.0	74 1.5	1906 38.1	38.9
持っている	1618 100.0	401 24.8	271 16.7	127 7.8	197 12.2	37 2.3	585 36.2	41.1
持っていない	3382 100.0	906 26.8	720 21.3	245 7.2	153 4.5	37 1.1	1321 39.1	37.7

※全体の調査数には消費者向けの店舗の有無が無回答のものを含むため、全体の調査数は各消費者向けの店舗の有無別の調査数の合計と一致しない。

図表2-4-84 平均的な時期（通常期）における1週間の就労時間【年齢階級別】

	調査数	上段：件数（件）					無回答	平均 （単位：時間）
		40時間未満	54時間未満	65時間未満	86時間未満	80時間以上		
全体	5000 100.0	1307 26.1	991 19.8	372 7.4	350 7.0	74 1.5	1906 38.1	38.9
20歳代以下	27 100.0	6 22.2	6 22.2	2 7.4	2 7.4	0 0.0	11 40.7	40.6
30歳代	372 100.0	89 23.9	56 15.1	27 7.3	34 9.1	7 1.9	159 42.7	40.4
40歳代	1218 100.0	282 23.2	244 20.0	101 8.3	100 8.2	31 2.5	460 37.8	40.9
50歳代	1832 100.0	434 23.7	423 23.1	156 8.5	142 7.8	23 1.3	654 35.7	39.9
60歳代以上	1549 100.0	495 32.0	262 16.9	86 5.6	72 4.6	13 0.8	621 40.1	35.5

※全体の調査数には年齢階級が無回答のものを含むため、全体の調査数は各年齢階級の調査数の合計と一致しない。

②最も忙しかった時期（繁忙期）における1週間の就労時間

・1週間の就労時間

図表2-4-85 最も忙しかった時期（繁忙期）における1週間の就労時間【業種別】

	調査数	上段：件数（件）					無回答	平均（単位：時間）
		40時間未満	5400時間未満以上	6500時間未満以上	8600時間未満以上	80時間以上		
全体	5000 100.0	778 15.6	602 12.0	544 10.9	787 15.7	383 7.7	1906 38.1	51.1
農林漁業	959 100.0	127 13.2	81 8.4	103 10.7	151 15.7	81 8.4	416 43.4	54.4
建設業	759 100.0	64 8.4	109 14.4	127 16.7	128 16.9	54 7.1	277 36.5	54.7
製造業	350 100.0	44 12.6	52 14.9	48 13.7	65 18.6	33 9.4	108 30.9	53.5
情報通信業	94 100.0	5 5.3	15 16.0	11 11.7	15 16.0	12 12.8	36 38.3	56.8
運輸業、郵便業	104 100.0	18 17.3	16 15.4	8 7.7	26 25.0	9 8.7	27 26.0	50.5
卸売業、小売業	531 100.0	88 16.6	60 11.3	52 9.8	81 15.3	33 6.2	217 40.9	49.3
金融業、保険業	18 100.0	4 22.2	4 22.2	1 5.6	1 5.6	1 5.6	7 38.9	42.0
不動産業、物品賃貸業	104 100.0	15 14.4	11 10.6	7 6.7	7 6.7	1 1.0	63 60.6	43.3
学術研究、専門・技術サービス業	454 100.0	58 12.8	57 12.6	47 10.4	85 18.7	51 11.2	156 34.4	54.9
宿泊業、飲食サービス業	359 100.0	86 24.0	31 8.6	22 6.1	75 20.9	34 9.5	111 30.9	49.9
生活関連サービス業、娯楽業	407 100.0	84 20.6	38 9.3	32 7.9	78 19.2	25 6.1	150 36.9	47.0
教育、学習支援業	227 100.0	55 24.2	26 11.5	22 9.7	15 6.6	12 5.3	97 42.7	43.1
医療、福祉	208 100.0	40 19.2	49 23.6	22 10.6	6 2.9	10 4.8	81 38.9	43.5
その他サービス業	426 100.0	90 21.1	53 12.4	42 9.9	54 12.7	27 6.3	160 37.6	47.0

図表2-4-86 最も忙しかった時期（繁忙期）における1週間の就労時間【消費者向けの店舗の有無別】

	調査数	上段：件数（件）					無回答	平均（単位：時間）
		40時間未満	5400時間未満以上	6500時間未満以上	8600時間未満以上	80時間以上		
全体	5000 100.0	778 15.6	602 12.0	544 10.9	787 15.7	383 7.7	1906 38.1	51.1
持っている	1618 100.0	305 18.9	185 11.4	142 8.8	275 17.0	126 7.8	585 36.2	49.2
持っていない	3382 100.0	473 14.0	417 12.3	402 11.9	512 15.1	257 7.6	1321 39.1	52.1

※全体の調査数には消費者向けの店舗の有無が無回答のものを含むため、全体の調査数は各消費者向けの店舗の有無別の調査数の合計と一致しない。

図表2-4-87 最も忙しかった時期（繁忙期）における1週間の就労時間【年齢階級別】

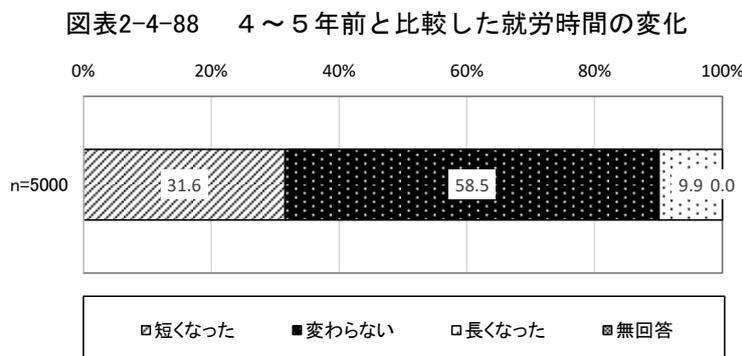
	調査数	上段：件数（件）					無回答	平均 （単位：時間）
		40時間未満	54時間未満	65時間未満	86時間未満	80時間以上		
全体	5000 100.0	778 15.6	602 12.0	544 10.9	787 15.7	383 7.7	1906 38.1	51.1
20歳代以下	27 100.0	1 3.7	7 25.9	1 3.7	5 18.5	2 7.4	11 40.7	54.9
30歳代	372 100.0	57 15.3	26 7.0	48 12.9	47 12.6	35 9.4	159 42.7	52.5
40歳代	1218 100.0	183 15.0	123 10.1	136 11.2	204 16.7	112 9.2	460 37.8	52.5
50歳代	1832 100.0	269 14.7	220 12.0	201 11.0	329 18.0	159 8.7	654 35.7	52.3
60歳代以上	1549 100.0	267 17.2	226 14.6	158 10.2	202 13.0	75 4.8	621 40.1	48.3

※全体の調査数には年齢階級が無回答のものを含むため、全体の調査数は各年齢階級の調査数の合計と一致しない。

(2) 4～5年前と比較した自身の働き方の変化

①就労時間(Q22-1)

4～5年前と比較した就労時間の変化は、「変わらない」の割合が58.5%で最も高く、次いで「短くなった」が31.6%であった。



図表2-4-89 4～5年前と比較した就労時間の変化【業種別】

	調査数	上段：件数 (件) 下段：割合 (%)			
		短くなった	変わらない	長くなった	無回答
全体	5000	1579	2926	495	0
	100.0	31.6	58.5	9.9	0.0
農林漁業	959	232	584	143	0
	100.0	24.2	60.9	14.9	0.0
建設業	759	285	429	45	0
	100.0	37.5	56.5	5.9	0.0
製造業	350	136	181	33	0
	100.0	38.9	51.7	9.4	0.0
情報通信業	94	26	61	7	0
	100.0	27.7	64.9	7.4	0.0
運輸業、郵便業	104	40	51	13	0
	100.0	38.5	49.0	12.5	0.0
卸売業、小売業	531	166	335	30	0
	100.0	31.3	63.1	5.6	0.0
金融業、保険業	18	6	12	0	0
	100.0	33.3	66.7	0.0	0.0
不動産業、物品賃貸業	104	19	82	3	0
	100.0	18.3	78.8	2.9	0.0
学術研究、専門・技術サービス業	454	165	241	48	0
	100.0	36.3	53.1	10.6	0.0
宿泊業、飲食サービス業	359	100	210	49	0
	100.0	27.9	58.5	13.6	0.0
生活関連サービス業、娯楽業	407	112	256	39	0
	100.0	27.5	62.9	9.6	0.0
教育、学習支援業	227	77	122	28	0
	100.0	33.9	53.7	12.3	0.0
医療、福祉	208	58	132	18	0
	100.0	27.9	63.5	8.7	0.0
その他サービス業	426	157	230	39	0
	100.0	36.9	54.0	9.2	0.0

図表2-4-90 4～5年前と比較した就労時間の変化【年齢階級別】

上段：件数（件）
下段：割合（％）

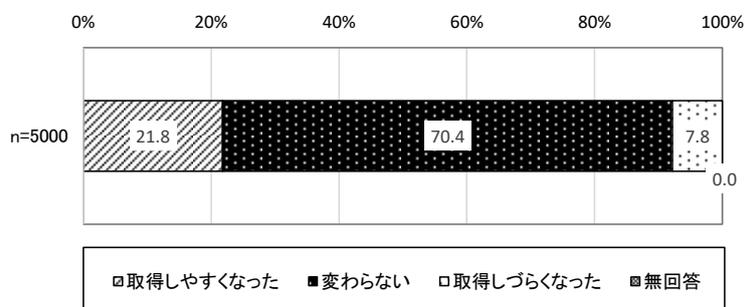
	調査数	短くなった	変わらない	長くなった	無回答
全体	5000 100.0	1579 31.6	2926 58.5	495 9.9	0 0.0
20歳代以下	27 100.0	6 22.2	13 48.1	8 29.6	0 0.0
30歳代	372 100.0	81 21.8	208 55.9	83 22.3	0 0.0
40歳代	1218 100.0	270 22.2	772 63.4	176 14.4	0 0.0
50歳代	1832 100.0	518 28.3	1148 62.7	166 9.1	0 0.0
60歳代以上	1549 100.0	703 45.4	784 50.6	62 4.0	0 0.0

※全体の調査数には年齢階級が無回答のものを含むため、全体の調査数は各年齢階級の調査数の合計と一致しない。

②休日・休暇の取得(Q22-2)

4～5年前と比較した休日・休暇の取得の変化は、「変わらない」の割合が70.4%で最も高く、次いで「取得しやすくなった」が21.8%であった。

図表2-4-91 4～5年前と比較した休日・休暇の取得の変化



図表2-4-92 4～5年前と比較した休日・休暇の取得の変化【業種別】

	調査数	上段：件数（件） 下段：割合（%）			
		な取得しやすくなった	変わらない	な取得しづらくなった	無回答
全体	5000	1090	3519	391	0
	100.0	21.8	70.4	7.8	0.0
農林漁業	959	166	686	107	0
	100.0	17.3	71.5	11.2	0.0
建設業	759	232	482	45	0
	100.0	30.6	63.5	5.9	0.0
製造業	350	82	247	21	0
	100.0	23.4	70.6	6.0	0.0
情報通信業	94	14	76	4	0
	100.0	14.9	80.9	4.3	0.0
運輸業、郵便業	104	27	65	12	0
	100.0	26.0	62.5	11.5	0.0
卸売業、小売業	531	100	391	40	0
	100.0	18.8	73.6	7.5	0.0
金融業、保険業	18	4	14	0	0
	100.0	22.2	77.8	0.0	0.0
不動産業、物品賃貸業	104	11	92	1	0
	100.0	10.6	88.5	1.0	0.0
学術研究、専門・技術サービス業	454	114	308	32	0
	100.0	25.1	67.8	7.0	0.0
宿泊業、飲食サービス業	359	72	253	34	0
	100.0	20.1	70.5	9.5	0.0
生活関連サービス業、娯楽業	407	72	298	37	0
	100.0	17.7	73.2	9.1	0.0
教育、学習支援業	227	40	173	14	0
	100.0	17.6	76.2	6.2	0.0
医療、福祉	208	36	157	15	0
	100.0	17.3	75.5	7.2	0.0
その他サービス業	426	120	277	29	0
	100.0	28.2	65.0	6.8	0.0

図表2-4-93 4～5年前と比較した休日・休暇の取得の変化【年齢階級別】

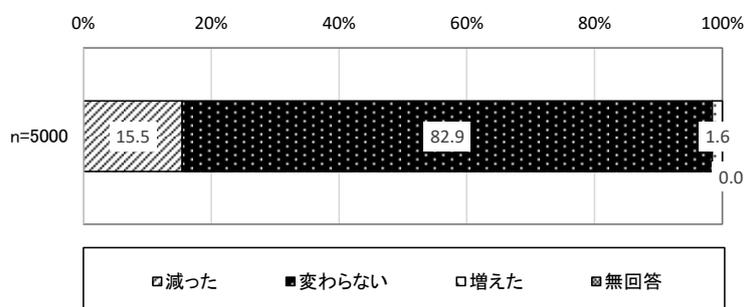
	調査数	上段：件数（件） 下段：割合（％）			
		な 取 得 し や す く	変 わ ら な い	な 取 得 し づ ら く	無 回 答
全体	5000 100.0	1090 21.8	3519 70.4	391 7.8	0 0.0
20歳代以下	27 100.0	9 33.3	16 59.3	2 7.4	0 0.0
30歳代	372 100.0	91 24.5	226 60.8	55 14.8	0 0.0
40歳代	1218 100.0	220 18.1	866 71.1	132 10.8	0 0.0
50歳代	1832 100.0	312 17.0	1374 75.0	146 8.0	0 0.0
60歳代以上	1549 100.0	457 29.5	1036 66.9	56 3.6	0 0.0

※全体の調査数には年齢階級が無回答のものを含むため、全体の調査数は各年齢階級の調査数の合計と一致しない。

③ハラスメント(Q22-3)

4～5年前と比較したハラスメントの変化は、「変わらない」の割合が82.9%で最も高く、次いで「減った」が15.5%であった。

図表2-4-94 4～5年前と比較したハラスメントの変化



図表2-4-95 4～5年前と比較したハラスメントの変化【業種別】

	調査数	上段：件数（件）				下段：割合（%）	
		減った	変わらない	増えた	無回答		
全体	5000	774	4147	79	0	15.5	82.9
農林漁業	959	184	758	17	0	19.2	79.0
建設業	759	147	594	18	0	19.4	78.3
製造業	350	43	303	4	0	12.3	86.6
情報通信業	94	8	85	1	0	8.5	90.4
運輸業、郵便業	104	22	78	4	0	21.2	75.0
卸売業、小売業	531	71	455	5	0	13.4	85.7
金融業、保険業	18	3	15	0	0	16.7	83.3
不動産業、物品賃貸業	104	11	92	1	0	10.6	88.5
学術研究、専門・技術サービス業	454	64	382	8	0	14.1	84.1
宿泊業、飲食サービス業	359	61	295	3	0	17.0	82.2
生活関連サービス業、娯楽業	407	45	359	3	0	11.1	88.2
教育、学習支援業	227	20	203	4	0	8.8	89.4
医療、福祉	208	34	172	2	0	16.3	82.7
その他サービス業	426	61	356	9	0	14.3	83.6

図表2-4-96 4～5年前と比較したハラスメントの変化【年齢階級別】

	調査数	上段：件数（件） 下段：割合（％）			
		減った	変わらない	増えた	無回答
全体	5000 100.0	774 15.5	4147 82.9	79 1.6	0 0.0
20歳代以下	27 100.0	5 18.5	21 77.8	1 3.7	0 0.0
30歳代	372 100.0	84 22.6	279 75.0	9 2.4	0 0.0
40歳代	1218 100.0	174 14.3	1020 83.7	24 2.0	0 0.0
50歳代	1832 100.0	227 12.4	1570 85.7	35 1.9	0 0.0
60歳代以上	1549 100.0	283 18.3	1256 81.1	10 0.6	0 0.0

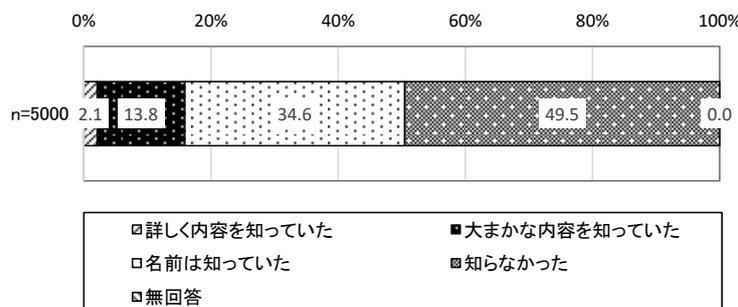
※全体の調査数には年齢階級が無回答のものを含むため、全体の調査数は各年齢階級の調査数の合計と一致しない。

7) 過重労働・過労死等の防止に向けた取組

(1) 過労死等防止対策推進法の認知度(Q23)

過労死等防止対策推進法の認知度は、「知らなかった」の割合が49.5%で最も高く、次いで「名前は知っていた」が34.6%であった。

図表2-4-97 過労死等防止対策推進法の認知度



図表2-4-98 過労死等防止対策推進法の認知度【業種別】

	調査数	上段：件数 (件) 下段：割合 (%)				
		知詳しく内容を知っていた	を大まかな内容を知っていた	名前前は知っていた	知らなかった	無回答
全体	5000	105	689	1730	2476	0
	100.0	2.1	13.8	34.6	49.5	0.0
農林漁業	959	19	127	333	480	0
	100.0	2.0	13.2	34.7	50.1	0.0
建設業	759	10	114	283	352	0
	100.0	1.3	15.0	37.3	46.4	0.0
製造業	350	6	42	128	174	0
	100.0	1.7	12.0	36.6	49.7	0.0
情報通信業	94	0	10	30	54	0
	100.0	0.0	10.6	31.9	57.4	0.0
運輸業、郵便業	104	2	6	37	59	0
	100.0	1.9	5.8	35.6	56.7	0.0
卸売業、小売業	531	8	71	192	260	0
	100.0	1.5	13.4	36.2	49.0	0.0
金融業、保険業	18	3	1	7	7	0
	100.0	16.7	5.6	38.9	38.9	0.0
不動産業、物品賃貸業	104	4	15	34	51	0
	100.0	3.8	14.4	32.7	49.0	0.0
学術研究、専門・技術サービス業	454	19	80	149	206	0
	100.0	4.2	17.6	32.8	45.4	0.0
宿泊業、飲食サービス業	359	8	41	123	187	0
	100.0	2.2	11.4	34.3	52.1	0.0
生活関連サービス業、娯楽業	407	6	47	142	212	0
	100.0	1.5	11.5	34.9	52.1	0.0
教育、学習支援業	227	5	27	74	121	0
	100.0	2.2	11.9	32.6	53.3	0.0
医療、福祉	208	8	37	67	96	0
	100.0	3.8	17.8	32.2	46.2	0.0
その他サービス業	426	7	71	131	217	0
	100.0	1.6	16.7	30.8	50.9	0.0

図表2-4-99 過労死等防止対策推進法の認知度【年齢階級別】

上段：件数（件）
下段：割合（％）

	調査数	知詳しくていた内容を	を大まかにつていた内容を	名前を知つて	知らなかつた	無回答
全体	5000 100.0	105 2.1	689 13.8	1730 34.6	2476 49.5	0 0.0
20歳代以下	27 100.0	2 7.4	5 18.5	7 25.9	13 48.1	0 0.0
30歳代	372 100.0	5 1.3	42 11.3	107 28.8	218 58.6	0 0.0
40歳代	1218 100.0	22 1.8	107 8.8	377 31.0	712 58.5	0 0.0
50歳代	1832 100.0	29 1.6	230 12.6	622 34.0	951 51.9	0 0.0
60歳代以上	1549 100.0	47 3.0	303 19.6	617 39.8	582 37.6	0 0.0

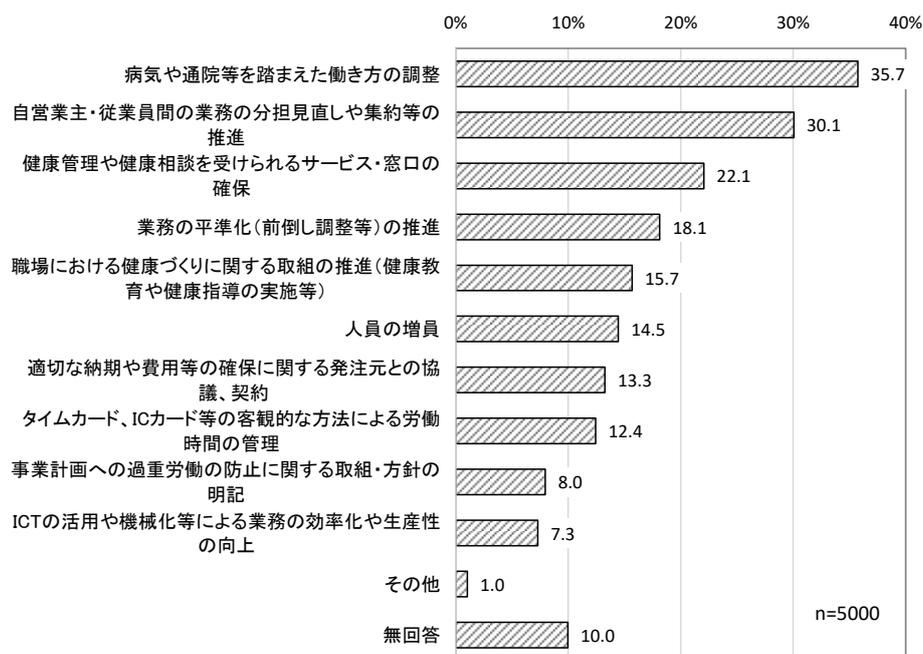
※全体の調査数には年齢階級が無回答のものを含むため、全体の調査数は各年齢階級の調査数の合計と一致しない。

(2) 自身の過重労働防止のための取組

① 自身の過重労働防止のために必要だと感じる取組(Q24-1)

自身の過重労働防止のために必要だと感じる取組は、「病気や通院等を踏まえた働き方の調整」の割合が 35.7%で最も高く、次いで「自営業主・従業員間の業務の分担見直しや集約等の推進」が 30.1%であった。

図表2-4-100 自身の過重労働防止のために必要だと感じる取組（複数回答）



図表2-4-101 自身の過重労働防止のために必要だと感じる取組（複数回答）【業種別】

上段：件数（件）
下段：割合（％）

	調査数	勤務時間の客観的な管理	タイムカード、ICカード	職場における健康づくりや健康指導の実施（健康教育）	病気の通院等を踏まえた働き方の調整	ICT業務の活用や機械化等による業務効率化や生産性の向上	適切な納期や費用等の確保に関する発注元との協議	自営業主・従業員間の業務分担の見直しや集約等の業務推進	業務の平準化（前倒し調整）	人員の増員	事業計画への過重労働の防止に関する取組・方針の明確化	健康管理や健康相談の受け入れ	その他	無回答
全体	5000 100.0	622 12.4	784 15.7	1787 35.7	365 7.3	663 13.3	1503 30.1	907 18.1	723 14.5	398 8.0	1103 22.1	52 1.0	498 10.0	
農林漁業	959 100.0	124 12.9	136 14.2	378 39.4	111 11.6	61 6.4	308 32.1	195 20.3	192 20.0	81 8.4	203 21.2	9 0.9	68 7.1	
建設業	759 100.0	76 10.0	143 18.8	286 37.7	31 4.1	175 23.1	262 34.5	137 18.1	144 19.0	64 8.4	141 18.6	11 1.4	47 6.2	
製造業	350 100.0	44 12.6	46 13.1	121 34.6	29 8.3	82 23.4	101 28.9	78 22.3	34 9.7	24 6.9	74 21.1	3 0.9	36 10.3	
情報通信業	94 100.0	8 8.5	10 10.6	32 34.0	11 11.7	20 21.3	28 29.8	14 14.9	9 9.6	8 8.5	20 21.3	2 2.1	9 9.6	
運輸業、郵便業	104 100.0	13 12.5	10 9.6	36 34.6	4 3.8	17 16.3	32 30.8	21 20.2	9 8.7	9 8.7	29 27.9	1 1.0	13 12.5	
卸売業、小売業	531 100.0	54 10.2	71 13.4	169 31.8	28 5.3	43 8.1	145 27.3	87 16.4	56 10.5	31 5.8	103 19.4	6 1.1	68 12.8	
金融業、保険業	18 100.0	2 11.1	4 22.2	8 44.4	1 5.6	2 11.1	4 22.2	2 11.1	2 11.1	2 16.7	7 38.9	0 0.0	0 0.0	
不動産業、物品賃貸業	104 100.0	6 5.8	15 14.4	41 39.4	5 4.8	6 5.8	21 20.2	19 18.3	2 1.9	9 8.7	19 18.3	1 1.0	18 17.3	
学術研究、専門・技術サービス業	454 100.0	59 13.0	71 15.6	149 32.8	48 10.6	115 25.3	126 27.8	117 25.8	52 11.5	40 8.8	112 24.7	7 1.5	55 12.1	
宿泊業、飲食サービス業	359 100.0	57 15.9	68 18.9	122 34.0	19 5.3	25 7.0	127 35.4	51 14.2	64 17.8	28 7.8	87 24.2	4 1.1	42 11.7	
生活関連サービス業、娯楽業	407 100.0	44 10.8	60 14.7	140 34.4	14 3.4	31 7.6	129 31.7	52 12.8	44 10.8	33 8.1	110 27.0	2 0.5	47 11.5	
教育、学習支援業	227 100.0	38 16.7	38 16.7	85 37.4	29 12.8	12 5.3	63 27.8	35 15.4	32 14.1	21 9.3	64 28.2	1 0.4	18 7.9	
医療、福祉	208 100.0	51 24.5	48 23.1	90 43.3	15 7.2	17 8.2	53 25.5	22 10.6	37 17.8	13 6.3	41 19.7	3 1.4	23 11.1	
複合サービス事業	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
その他サービス業	426 100.0	46 10.8	64 15.0	130 30.5	20 4.7	57 13.4	104 24.4	77 18.1	46 10.8	34 8.0	93 21.8	2 0.5	54 12.7	

図表2-4-102 自身の過重労働防止のために必要だと感じる取組（複数回答）【年齢階級別】

上段：件数（件）
下段：割合（％）

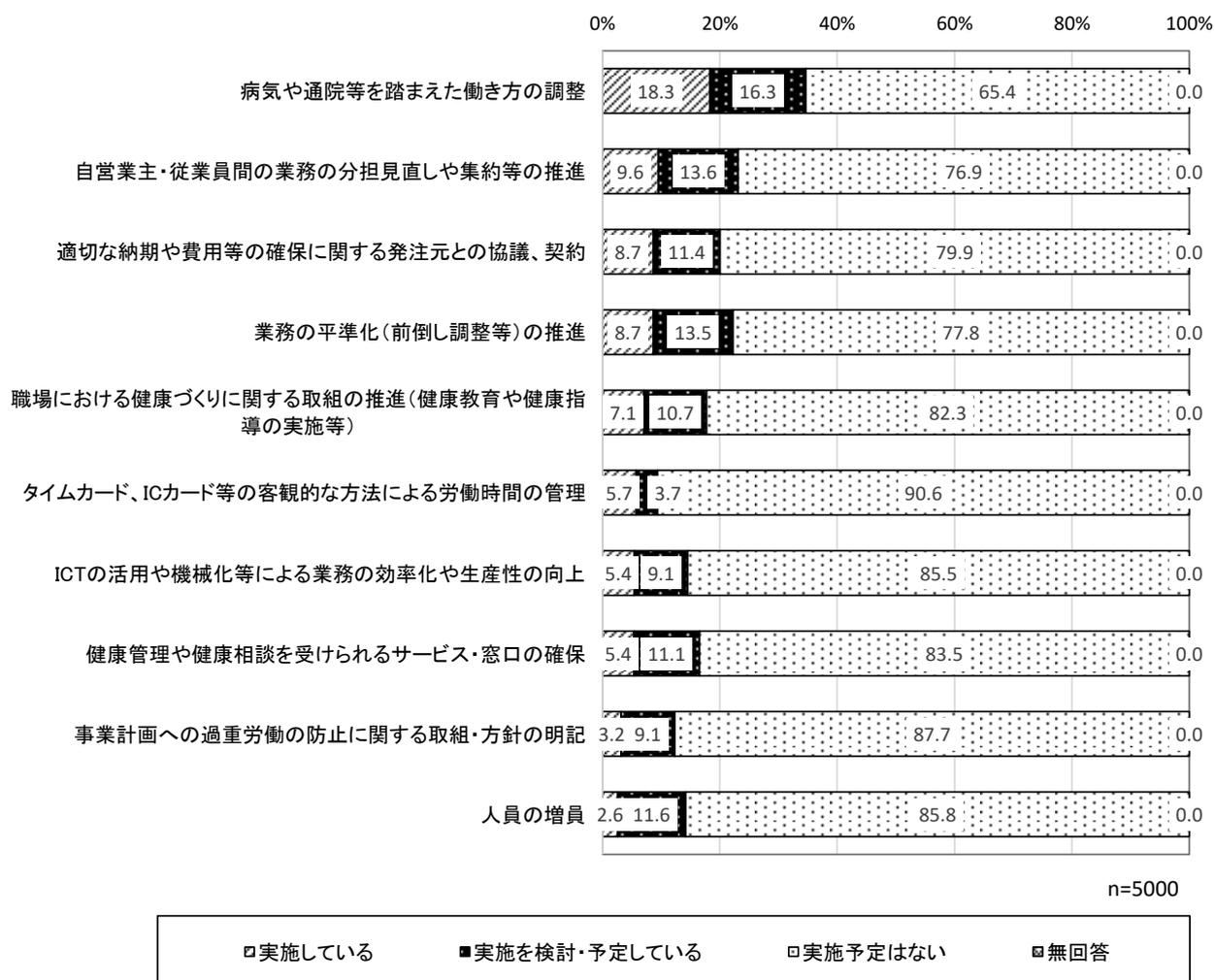
	調査数	働等タイムの客観的な管理 時間カード、ICカード	育や健康指導の推進（健康教 場における健康づくり	職場の健康取組の推進（健康 き方や通院等を踏まえた働	病気の調整	ICTの活用や機械化等に の向上	契約に関する発注元との協議、 適切な納期や費用等の確保	進の分担見直しや集約等の業 務の標準化（前倒し調整	自営業主・従業員間の業 務の増員	業務の標準化（前倒し調整 等）の推進	人員の増員	記止業計画への過重労働の 防止に関する取組・方針の明	保ら健康管理や健康相談を 受け	その他	無 回 答
全体	5000 100.0	622 12.4	784 15.7	1787 35.7	365 7.3	663 13.3	1503 30.1	907 18.1	723 14.5	398 8.0	1103 22.1	52 1.0	498 10.0		
20歳代以下	27 100.0	8 29.6	8 29.6	7 25.9	5 18.5	4 14.8	10 37.0	4 14.8	13 48.1	4 14.8	8 29.6	0 0.0	1 3.7		
30歳代	372 100.0	84 22.6	83 22.3	123 33.1	50 13.4	50 13.4	133 35.8	74 19.9	102 27.4	43 11.6	90 24.2	4 1.1	22 5.9		
40歳代	1218 100.0	174 14.3	215 17.7	396 32.5	106 8.7	156 12.8	398 32.7	202 16.6	239 19.6	99 8.1	258 21.2	16 1.3	85 7.0		
50歳代	1832 100.0	189 10.3	254 13.9	635 34.7	117 6.4	259 14.1	550 30.0	319 17.4	243 13.3	132 7.2	391 21.3	13 0.7	196 10.7		
60歳代以上	1549 100.0	167 10.8	224 14.5	625 40.3	87 5.6	194 12.5	412 26.6	308 19.9	126 8.1	120 7.7	355 22.9	19 1.2	193 12.5		

※全体の調査数には年齢階級が無回答のものを含むため、全体の調査数は各年齢階級の調査数の合計と一致しない。

②自身の過重労働防止のための取組の実施状況(Q24-2)

自身の過重労働防止のための取組の実施状況のうち、「実施している」の割合は、「病気や通院等を踏まえた働き方の調整」の割合が18.3%で最も高く、次いで「自営業主・従業員間の業務の分担の見直しや集約等の推進」が9.6%であった。

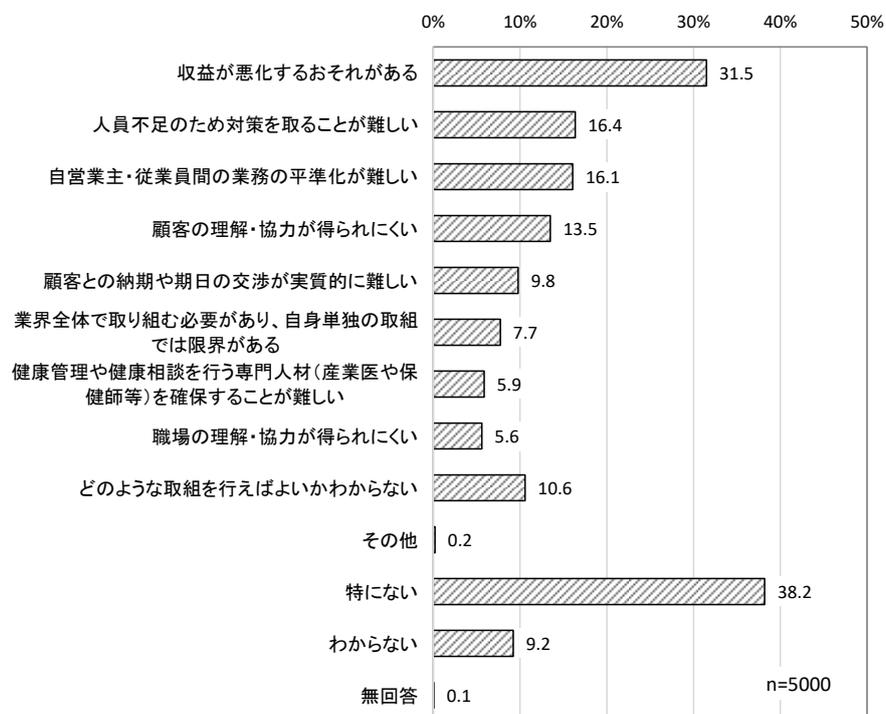
図表2-4-103 自身の過重労働防止のための取組の実施状況



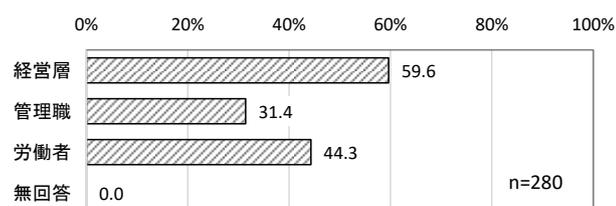
(3) 過重労働の防止に向けた取組を実施する上で困難に感じること(Q25)

過重労働の防止に向けた取組を実施する上で困難に感じることは、「収益が悪化するおそれがある」の割合が31.5%で最も高く、次いで「人員不足のため対策を取ることが難しい」が16.4%であった。なお、「特にない」が38.2%であった。

図表2-4-104 過重労働の防止に向けた取組を実施する上で困難に感じること(複数回答)



図表2-4-105 職場で理解・協力が得られにくい対象(複数回答)



<自営業者調査結果>

図表2-4-106 過重労働の防止に向けた取組を実施する上で困難に感じること(複数回答)【業種別】

上段：件数(件)
下段：割合(%)

	調査数	収益が悪化するおそれがある	職場の理解・協力が得られない	顧客の理解・協力が得られない	人員不足のため対策をとることが難しい	自営業主・従業員間の業務の平準化が難しい	顧客との納期や期日の交渉が実質的に難しい	健康管理や健康相談を行う専門人材(産業医や保健師等)を確保することが難しい	業界全体で取り組む必要がある、自身単独の取組では限界がある	どのような取組を行えばよいかわからない	その他	特にない	わからない	無回答
全体	5000 100.0	1575 31.5	280 5.6	675 13.5	818 16.4	804 16.1	489 9.8	293 5.9	386 7.7	529 10.6	10 0.2	1910 38.2	461 9.2	3 0.1
農林漁業	959 100.0	281 29.3	43 4.5	30 3.1	243 25.3	191 19.9	42 4.4	52 5.4	68 7.1	129 13.5	3 0.3	319 33.3	103 10.7	3 0.3
建設業	759 100.0	263 34.7	83 10.9	150 19.8	163 21.5	156 20.6	130 17.1	51 6.7	97 12.8	79 10.4	1 0.1	242 31.9	57 7.5	0 0.0
製造業	350 100.0	117 33.4	21 6.0	62 17.7	46 13.1	58 16.6	59 16.9	29 8.3	23 6.6	36 10.3	0 0.0	134 38.3	26 7.4	0 0.0
情報通信業	94 100.0	28 29.8	2 2.1	19 20.2	5 5.3	14 14.9	14 14.9	9 9.6	9 9.6	10 10.6	0 0.0	38 40.4	10 10.6	0 0.0
運輸業、郵便業	104 100.0	37 35.6	11 10.6	15 14.4	8 7.7	18 17.3	8 7.7	3 2.9	18 17.3	11 10.6	0 0.0	36 34.6	14 13.5	0 0.0
卸売業、小売業	531 100.0	169 31.8	18 3.4	63 11.9	69 13.0	63 11.9	36 6.8	28 5.3	24 4.5	54 10.2	1 0.2	233 43.9	44 8.3	0 0.0
金融業、保険業	18 100.0	7 38.9	0 0.0	3 16.7	2 11.1	3 16.7	2 11.1	2 11.1	1 5.6	2 11.1	0 0.0	9 50.0	0 0.0	0 0.0
不動産業、物品賃貸業	104 100.0	13 12.5	2 1.9	4 3.8	3 2.9	6 5.8	2 1.9	5 4.8	4 3.8	6 5.8	0 0.0	69 66.3	10 9.6	0 0.0
学術研究、専門・技術サービス業	454 100.0	150 33.0	20 4.4	107 23.6	59 13.0	81 17.8	94 20.7	26 5.7	48 10.6	53 11.7	2 0.4	162 35.7	18 4.0	0 0.0
宿泊業、飲食サービス業	359 100.0	125 34.8	22 6.1	47 13.1	80 22.3	66 18.4	15 4.2	26 7.2	20 5.6	40 11.1	1 0.3	143 39.8	28 7.8	0 0.0
生活関連サービス業、娯楽業	407 100.0	139 34.2	19 4.7	61 15.0	43 10.6	52 12.8	24 5.9	15 3.7	26 6.4	35 8.6	1 0.2	156 38.3	50 12.3	0 0.0
教育、学習支援業	227 100.0	62 27.3	9 4.0	35 15.4	19 8.4	23 10.1	18 7.9	12 5.3	11 4.8	19 8.4	0 0.0	100 44.1	24 10.6	0 0.0
医療、福祉	208 100.0	81 38.9	11 5.3	28 13.5	30 14.4	26 12.5	5 2.4	13 6.3	13 6.3	22 10.6	1 0.5	79 38.0	17 8.2	0 0.0
複合サービス事業	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他サービス業	426 100.0	103 24.2	19 4.5	51 12.0	48 11.3	47 11.0	40 9.4	22 5.2	24 5.6	33 7.7	0 0.0	190 44.6	60 14.1	0 0.0